

付章2 大阪府東奈良遺跡における プラント・オパール分析

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

植物珪酸体は、ガラスの主成分である珪酸 (SiO_2) が植物の細胞内に蓄積したものであり、植物が枯死した後も微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。プラント・オパール（植物珪酸体）分析は、この微化石を遺跡土壤などから検出し、その組成や量を明らかにする方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定による農耕の復元、さらに古植生・古環境の推定などに応用されている。

東奈良遺跡の発掘調査では、弥生時代中期の遺構面の下層において、上面に足跡らしき窪みのある黒色粘土層の堆積が認められたことから、当時の水田跡の可能性が考えられた。そこで、本層準における稻作の可能性を探ることを目的として、プラント・オパール分析を行うことになった。

2. 試料

試料が採取されたのは、3 A ドレンチ 6 面下筋壙断面で、東側より①、②、③の 3 地点である。分析試料は、①地点では下位より黒色粘土層（試料No. 7）、黒色粘土層（試料No. 6）、灰色粘土層（試料No. 5）、②地点では下位より灰色粘質土層（試料No. 4）、黒色粘土層（試料No. 3）、灰色粘土層（試料No. 2）、③地点では黒色粘土層（試料No. 1）の計 7 点である。

3. 分析法

プラント・オパールの抽出と定量は、「プラント・オパール定量分析法（藤原、1976）」をもとに、次の手順を行った。

- 1) 試料土の絶乾（105°C・24時間）
- 2) 試料土約 1 g を秤量、ガラスピーブ添加（直径約 40 μm、約 0.02 g）
※電子分析天秤により 1 万分の 1 g の精度で秤量
- 3) 電気炉灰化法による脱有機物処理
- 4) 超音波による分散（300W・42KHz・10分間）
- 5) 沈底法による微粒子（20 μm 以下）除去、乾燥
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散、プレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

検鏡は、おもにイネ科植物の機動細胞（葉身にのみ形成される）に由来するプラント・オパール（以下、プラント・オパールと略す）を同定の対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスピーブ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。

検鏡結果は、計数値を試料 1 g 中のプラント・オパール個数（試料 1 gあたりのガラスピーブ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスピーブの個数の比率を乗じて求める）に換算して示した。また、おもな分類群については、この値に試料の仮比重（1.0 と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体

1個あたりの植物体乾重、単位： 10^{-6} g) を乗じて、単位面積で層厚1 cmあたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米(2.94、種実重は1.03)、ヨシ属はヨシ(6.31)、ウシクサ族はスキ(1.24)、タケ亜科については数種の平均値(0.48)を用いた(杉山・藤原、1987)。

4. 分析結果

稻作跡の探査が主目的であるため、同定は、イネ、キビ族(ヒエなどが含まれる)、ヨシ属、タケ亜科、ウシクサ族(スキやチガヤなどが含まれる)の主要な5分類群を中心に行った。

分析の結果、イネ、ヨシ属、ウシクサ族、タケ亜科のプラント・オパールが検出された。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1、図1に示した。なお、おもな分類群については巻末に顕微鏡写真を示した。

5. 考察

今回の調査では、西側の③地点の試料No.1のみでイネのプラント・オパールが検出された。ただし、プラント・オパール密度は1,400個/gであり、これは稻作跡を判断する際の基準値である5,000個/gに対してかなり低い値である。また、他の地点の同一層準(試料No.3、No.6)からはイネのプラント・オパールは検出されていない。さらに、本層準では各地点ともタケ亜科が極めて高い密度で検出されていることから、調査区一帯にはタケ類がかなりの量で生育していたことが推察される。以上のことから判断するならば、本層準における稻作の可能性について全く否定することはできないが、ここで検出されたイネのプラント・オパールは、他所からの混入である危険性もあり得る。この点に関しては、上層からの影響が気になるところだが、今回は直上層の試料が得られていないためにここでは言及できない。なお、仮に稻作が行われていたとしても、おそらく非常に短期間であったと思われる。

さて、本遺跡では、各層準とも乾いた環境を好むタケ亜科(おもにネザサ節)が優勢であり、湿地的環境の指標となるヨシ属の検出量は極めて少ない。このことから、これらの層準の堆積期間はほとんど湿地化することがなく、乾いた環境であったと推定される。なお、黒色粘土層(試料No.1、No.3、No.6)においてはタケ亜科の卓越が著しく、検出されたプラント・オパールの大部分を占めている。このことは、先にも述べたように本層準の堆積時は調査区一帯はかなりの量のタケ類が繁茂していたことを示している。したがって、本層準の黒色化の成因は、おもにこれらタケ亜科の腐植によるものと考えてよからう。

6.まとめ

東奈良遺跡においてプラント・オパール分析を行い、稻作跡の探査を試みた。その結果、西側の黒色粘土層においてイネのプラント・オパールが検出されたものの、低密度であること、同じ層準でも他所では検出されないこと、タケ亜科が高密度であることなどから、ここで稻作が行われていた可能性を積極的に支持することはできなかった。なお、同層では調査区一帯にタケ亜科が密生していた可能性が推定された。

文献

- 杉山真二・藤原宏志(1987)川口市赤山陣屋跡遺跡におけるプラント・オパール分析。赤山—古環境編一。川口市遺跡調査会報告、10、281-298。

藤原宏志(1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－、考古学と自然科学、9: 15-29。

藤原宏志(1979) プラント・オパール分析法の基礎的研究(3)－福岡・板付遺跡(夜臼式)水田および群馬・日高遺跡(弥生時代)水田におけるイネ(*O. sativa L.*)生産総量の推定－、考古学と自然科学、12: 29-41。

藤原宏志・杉山真二(1984) プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－、考古学と自然科学、17: 73-85。

植物珪酸体(プラント・オパール)の顕微鏡写真

No.	分類群	地點	試料名
1	イネ	①(西側)	No. 1
2	イネ	①(西側)	No. 1
3	ヨシ属	③(中央)	No. 3
4	タケ亜科	①(西側)	No. 1
5	タケ亜科	③(中央)	No. 3
6	ウシクサ族(ススキ属)	③(中央)	No. 3

表1 東奈良遺跡3Aトレーナーのプラント・オパール分析結果
検出密度(単位: ×100個/g)

分類群／試料	西側	中央			東側			
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7
イネ	14							
ヨシ属	7		15			7	7	
ウシクサ族(ススキ属など)	56		31	15		7	15	14
タケ亜科(おもにネザサ節)	2153	375	2861	1109	372	931	957	

推定生産量(単位: kg/m²・cm)

イネ	0.41						
(イネ類)	0.14						
ヨシ属	0.44		0.98		0.43	0.43	
ウシクサ族(ススキ属など)	0.69		0.38	0.18	0.08	0.18	0.17
タケ亜科(おもにネザサ節)	10.33	1.80	13.73	5.32	1.78	4.47	4.59

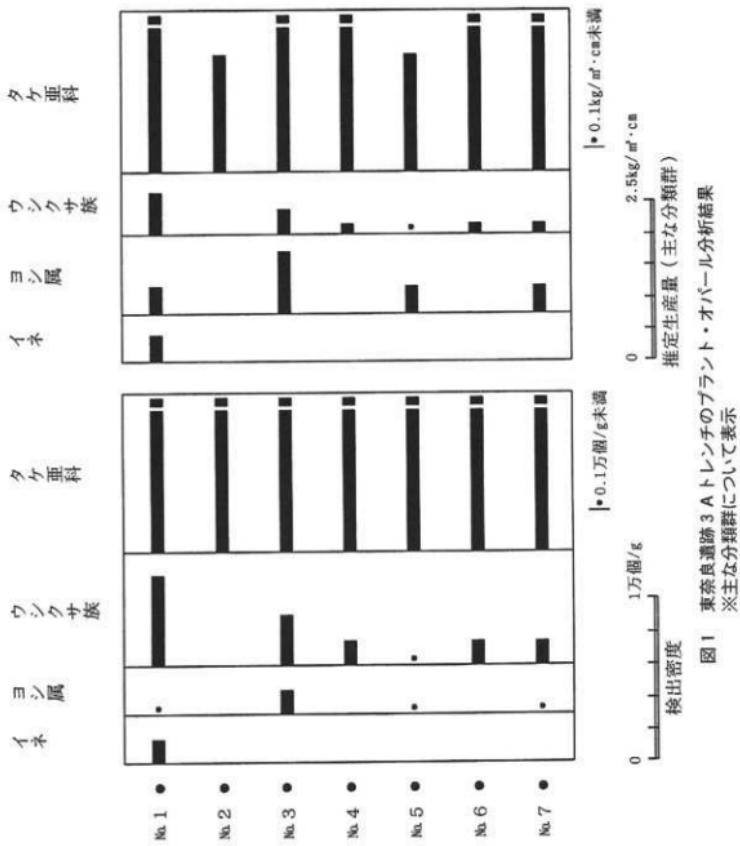
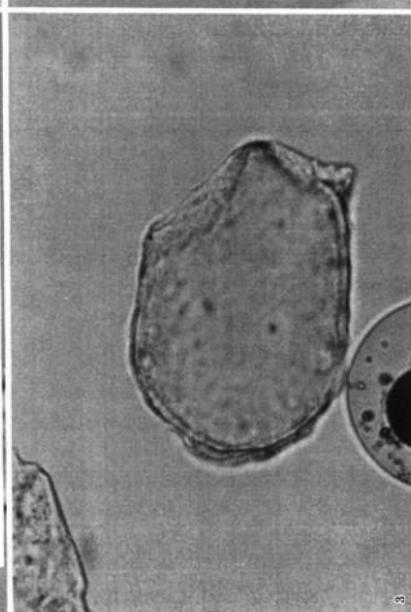
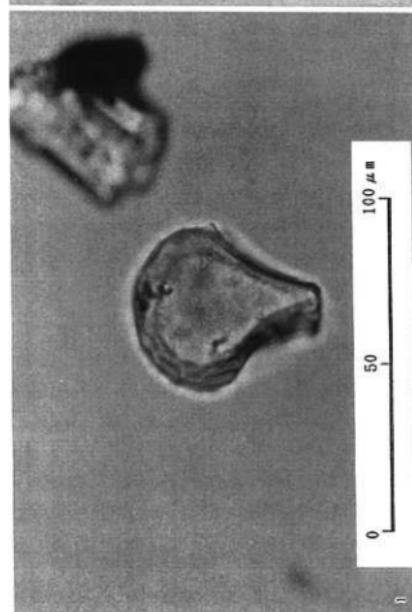
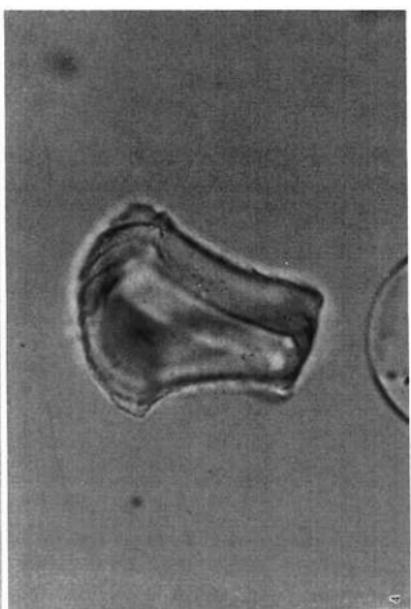
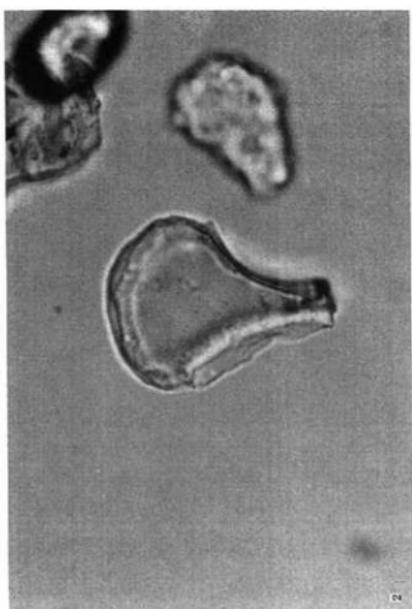
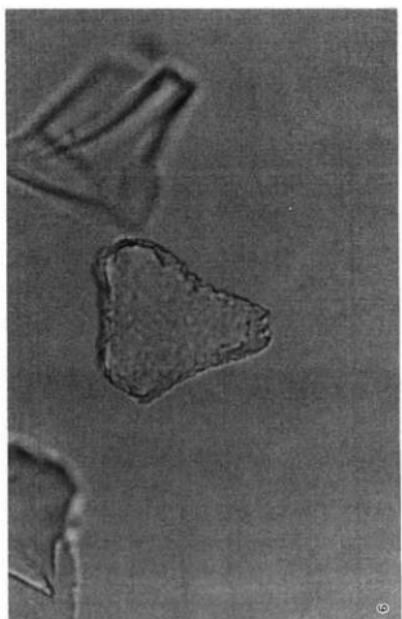
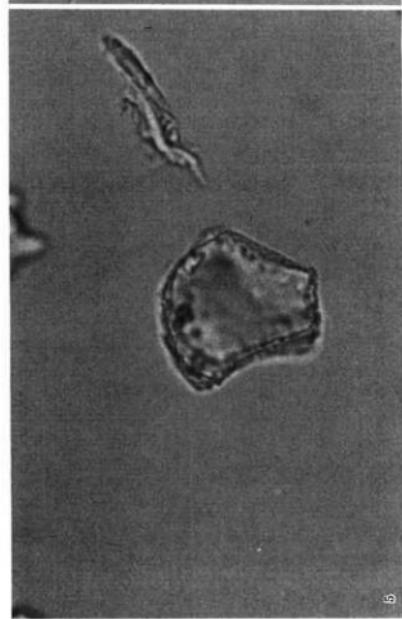


図1 東奈良遺跡3Aトレンチのプランツ・オバール分析結果
※主な分類群について表示





④



⑤

付章3 東奈良遺跡出土土器胎土分析

株第四紀 地質研究所

目 次

1 実験条件	198
1-1 試料	198
1-2 X線回折試験	198
1-3 化学分析	198
2 X線回折試験結果の取扱い	198
2-1 組成分析	198
2-2 烧成ランク	199
3 X線回折試験結果	201
3-1 タイプ分類	201
3-2 石英-斜長石の相関について	201
4 化学分析結果	202
4-1 $\text{SiO}_2-\text{Al}_2\text{O}_3$ の相関について	202
4-2 $\text{Fe}_2\text{O}_3-\text{MgO}$ の相関について	202
4-3 $\text{K}_2\text{O}-\text{CaO}$ の相関について	202
5 まとめ	203

図 表 目 次

第1図 三角ダイヤグラム位置分類図	200
第2図 菱形ダイヤグラム位置分類図	200
第3図 $\text{Mn}-\text{Mg}-\text{Hb}$ 三角ダイヤグラム	213
第4図 $\text{Mn}-\text{Ch}, \text{Mg}-\text{Hb}$ 菱形ダイヤグラム	214
第5図 $\text{Qt}-\text{Pl}$ 図	215, 216
第6図 $\text{SiO}_2-\text{Al}_2\text{O}_3$ 図	217, 218
第7図 $\text{Fe}_2\text{O}_3-\text{MgO}$ 図	219, 220
第8図 $\text{K}_2\text{O}-\text{CaO}$ 図	221, 222
第1表 胎土性状表	204~208
第2表 化学分析表	209~211
第3表 タイプ分類一覧表	212
第4表 遺跡別成分表	212

鑑定報告

株第四紀地質研究所 井上 嶽

X線回折試験及び化学分析試験

1 実験条件

1-1 試料

分析に供した試料は第1表胎土性状表に示す通りである。

X線回折試験に供する遺物試料は洗浄し、乾燥したのちに、メノウ乳鉢にて粉碎し、粉末試料として実験に供した。

化学分析は土器をダイヤモンドカッターで小片に切断し、表面を洗浄し、乾燥後、試料表面をコーティングしないで、直接電子顕微鏡の鏡筒内に挿入し、分析した。

1-2 X線回折試験

土器胎土に含まれる粘土鉱物及び造岩鉱物の同定はX線回折試験によった。測定には日本電子製J D X-8020 X線回折装置を用い、次の実験条件で実験した。

Target: Cu, Filter: Ni, Voltage: 40kV, Current: 30mA, ステップ角度: 0.02°, 計数時間: 0.5秒。

1-3 化学分析

元素分析は日本電子製5300LV型電子顕微鏡に2001型エネルギー分散型蛍光X線分析装置をセットし、実験条件は加速電圧: 15 kV、分析法: スプリント法、分析倍率: 200倍、分析有効時間: 100秒、分析指定元素: 10元素で行った。

2 X線回折試験結果の取扱い

実験結果は第1表胎土性状表に示す通りである。

第1表右側にはX線回折試験に基づく粘土鉱物及び造岩鉱物の組織が示してあり、左側には、各胎土に対する分類を行った結果を示している。

X線回折試験結果に基づく粘土鉱物及び造岩鉱物の各々に記載される数字はチャートの中に現われる各鉱物に特有のピークの強度を記載したものである。

電子顕微鏡によって得られたガラス量とX線回折試験で得られたムライト(Mullite)、クリストバライド(Cristobalite)等の組成上の組合せによって焼成ランクを決定した。

2-1 組成分類

1) Mont-Mica-Hb三角ダイアグラム

第1図に示すように三角ダイアグラムを1~13に分割し、位置分類を各胎土について行い、各胎土の位置を数字で表した。

Mont、Mica、Hbの三成分の含まれない胎土は記載不能として14にいれ、別に検討した。三角ダイアグラムはモンモリナイト(Mont)、雲母類(Mica)、角閃石(Hb)のX線回折試験におけるチャートのピーク強度をパーセント(%)で表示する。

モンモリナイトはMont/Mont+Mica+Hb*100でパーセントとして求め、同様にMica、Hbも計算し、三角ダイヤグラムに記載する。

三角ダイアグラム内の1~4はMont、Mica、Hbの3成分を含み、各辺は2成分、各頂点は1成分

よりなっていることを表している。

位置分類についての基本原則は第1図に示す通りである。

2) Mont-Ch, Mica-Hb菱形ダイアグラム

第2図に示すように菱形ダイアグラムを1~19に区分し、位置分類を数字で記載した。記載不能は20として別に検討した。

モンモリロナイト(Mont)、雲母類(Mica)、角閃石(Hb)、緑泥石(Ch)の内、

a) 3成分以上含まれない、

b) Mont, Chの2成分が含まれない、

c) Mica, Hbの2成分が含まれない、

の3例がある。

菱形ダイアグラムはMont-Ch, Mica-Hbの組合せを表示するものである。

Mont-Ch, Mica-HbのそれぞれのX線回折試験のチャートの強度を各々の組合せ毎にパーセントで表すもので、例えば、Mont/Mont+Ch*100と計算し、Mica, Hb, Chも各々同様に計算し、記載する。

菱形ダイアグラム内にある1~7はMont, Mica, Hb, Chの4成分を含み、各辺はMont, Mica, Hb, Chのうち3成分、各頂点は2成分を含んでいることを示す。

位置分類についての基本原則は第2図に示すとおりである。

2-2 焼成ランク

焼成ランクの区分はX線回折試験による鉱物組成と、電子顕微鏡観察によるガラス量によって行った。

ムライト(Mullite)は、磁器、陶器など高温で焼かれた状態で初めて生成する鉱物であり、クリストバライド(Cristobalite)はムライトより低い温度、ガラスはクリストバライドより更に低い温度で生成する。

これらの事実に基づき、X線回折試験結果と電子顕微鏡観察結果から、土器胎土の焼成ランクをI~Vの5段階に区分した。

a) 焼成ランクI: ムライトが多く生成し、ガラスの単位面積が広く、ガラスは発泡している。

b) 焼成ランクII: ムライトとクリストバライドが共存し、ガラスは短冊状になり、面積は狭くなる。

c) 焼成ランクIII: ガラスのなかにクリストバライドが生成し、ガラスの単位面積が狭く、葉状断面をし、ガラスのつながりに欠ける。

d) 焼成ランクIV: ガラスのみが生成し、原土(素地土)の組織をかなり残してゐる。ガラスは微小な葉状を呈する。

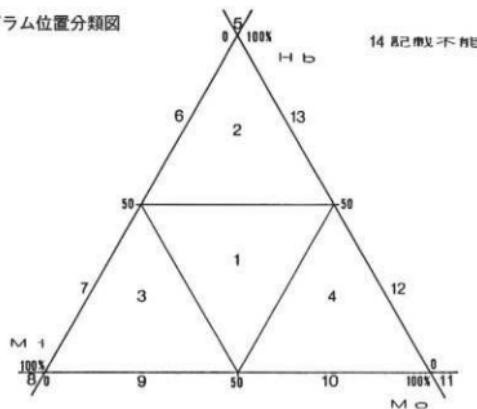
e) 焼成ランクV: 原土に近い組織を有し、ガラスは殆どできていない。

以上のI~Vの分類は原則であるが、胎土の材質、すなわち、粘土の良悪によってガラスの生成量は異なるので、電子顕微鏡によるガラス量も分類に大きな比重を占める。このため、ムライト、クリストバライドなどの組合せといくぶん異なる焼成ランクが出現することになるが、この点については第1表の右端の備考に理由を記した。

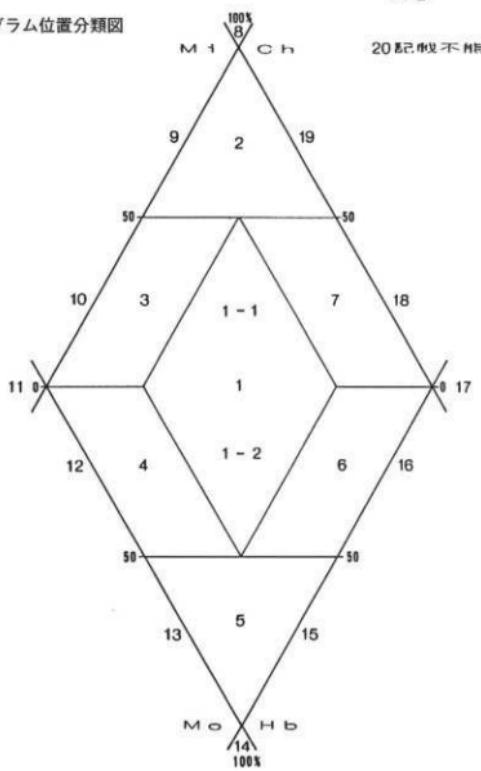
3) 化学分析結果の取り扱い

化学分析結果は酸化物として、ノーマル法(10元素全体で100%になる)で計算し、化学分析表を作成した。化学分析表に基づいて $\text{SiO}_2-\text{Al}_2\text{O}_3$ 図、 $\text{Fe}_2\text{O}_3-\text{MgO}$ 図、 $\text{K}_2\text{O}-\text{CaO}$ 図の各図を作成した。これらの図をもとに、土器類を元素の面から分類した。

第1図 三角ダイヤグラム位置分類図



第2図 菱形ダイヤグラム位置分類図



3 X線回折試験結果

3-1 タイプ分類

第1表胎土性状表には前回分析した東奈良遺跡試料と共に今回分析した東奈良遺跡の試料、新たに分析した大阪府下の弥生時代中期の遺跡である亀井北、西ノ辻、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡と奈良県の唐古・鍵遺跡の分析結果も記載してある。タイプ分類はこれらの各遺跡の弥生土器で新たにおこない、第3表タイプ分類一覧表を作成した。

第3表に示すように土器胎土はA～Mの13タイプに分類された。

Aタイプ: Mont, Mica, Hb, Chの4成分を含む。

Bタイプ: Mont, Mica, Hbの3成分を含み、Ch 1成分に欠ける。

Cタイプ: Hb, Chの2成分を含み、Mont, Micaの2成分に欠ける。

Dタイプ: Hb 1成分を含み、Mont, Mica, Chの3成分に欠ける。

Eタイプ: Mica, Hb, Chの3成分を含み、Mont 1成分に欠ける。

Fタイプ: Mica, Hbの2成分を含み、Mont, Chの2成分に欠ける。

Gタイプ: Mica, Hb, Chの3成分を含み、Mont 1成分に欠ける。組成的にはEタイプと同じであるが検出強度が異なる為に、タイプが異なる。

Hタイプ: Mica, Hbの2成分を含み、Mont, Chの2成分に欠ける。組成的にはFタイプと同じであるが、検出強度が異なる為に、タイプが異なる。

Iタイプ: Mica, Chの2成分を含み、Mont, Hbの2成分に欠ける。

Jタイプ: Mica 1成分を含み、Mont, Hb, Chの3成分に欠ける。

Kタイプ: Mont, Micaの2成分を含み、Hb, Chの2成分に欠ける。

Lタイプ: Mont 1成分を含み、Mica, Hb, Chの3成分に欠ける。

Mタイプ: Mont, Mica, Hb, Chの4成分に欠ける。主に、 $n A l_2 O_3 \cdot m S i O_2 \cdot l H_2 O$ (アロフェン質ガル) で構成される。

最も多いタイプはJタイプで147個の土器のうち49個が該当する。このJタイプは大阪府下の東奈良、亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器に共通するタイプである。次いで、Hタイプの29個で、大阪府下の東奈良、亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器に共通するタイプである。DとEタイプは西ノ辻遺跡に特有のタイプである。奈良県の唐古・鍵遺跡の土器はFタイプに集中する。MタイプもJタイプと同様に大阪府下の東奈良、亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器に共通するタイプである。

3-2 石英 (Qt) - 斜長石 (Pl) の相関について

土器胎土中に含まれる砂の粘土に対する混合比は粘土の材質、土器の焼成温度と大きな関わりがある。土器を製作する過程で、ある粘土にある量の砂を混合して素地土を作るということは個々の集団が持つ土器製作上の固有の技術であると考えられる。

自然の状態における各地の砂は固有の石英と斜長石比を有している。この比は後背地の地質条件によって各々異なってくるものであり、言い換えれば、各地の砂はおのおの固有の石英と斜長石比を有していると言える。

第5図Qt-Pt図に示すようにQt (石英) の強度の低い領域からI～IVの4グループに分類され

た。

I グループ：西ノ辻遺跡土器が集中する。（生駒西麓系の土器）

II グループ：唐古・鍵遺跡の土器が集中する。

III グループ：東奈良、亀井北、瓜生堂の各遺跡の土器が混在する。

IV グループ：東奈良、亀井北、池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器が共存する。

東奈良、亀井北、池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器は砂の混合比においては同じ領域にあって明瞭に分かれない。これとは対照的に西ノ辻遺跡の土器は角閃石（H b）の強度が高く、生駒西麓系の土器でQ t の値の低い領域に集中し、明瞭に分類される。唐古・鍵遺跡遺跡の土器もQ t の強度が低い領域に集中し、明らかに大阪府下の西ノ辻遺跡以外の遺跡の土器とは明瞭に分類される。

4 化学分析結果

第2表化学分析表に示すように、東奈良遺跡の土器と大阪府下の弥生遺跡の亀井北、池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器、奈良県の唐古・鍵遺跡の土器を化学分析した。分析結果に基づいて第4表遺跡別成分表と第6図 $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ 図、第7図 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{MgO}$ 図、第8図 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ 図を作成した。

4-1 $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ の相関について

第6図 $\text{SiO}_2 - \text{Al}_2\text{O}_3$ 図に示すように SiO_2 の値の低い45～55%の領域には西ノ辻遺跡の土器、48～57%の領域には唐古・鍵遺跡の土器が集中し、I と II グループを形成し、 SiO_2 の値の高い57～73%の領域に東奈良、亀井北、池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器が集中し、III～V の 3 グループを形成する。この分布傾向は Q t - P 1 の分類と同じ傾向を示す。

III～V グループのうち Al_2O_3 の値が高い領域に東奈良遺跡の土器が集まる III グループ、 Al_2O_3 の値が低い領域に亀井北遺跡の土器が集中して V グループを形成し、この中間領域に池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器が集中し、IV グループを形成する。

4-2 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{MgO}$ の相関について

第7図 $\text{Fe}_2\text{O}_3 - \text{MgO}$ 図に示すように、 Fe_2O_3 の値が低い領域には東奈良、亀井北、池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器が集中し、I～IV の 4 グループを形成する。 Fe_2O_3 の値が高く、 MgO の値が低い領域に唐古・鍵遺跡の土器が集中する V グループ、 Fe_2O_3 と MgO の値が高い領域に西ノ辻遺跡の土器が集中してグループを形成する。

Fe_2O_3 の値が低い領域の I～IV の 4 グループは MgO の値が高い領域から池上曾根遺跡の土器が集中する I グループ、瓜生堂遺跡、若江北遺跡、山賀遺跡の土器が集中する II グループ、東奈良遺跡と亀井北遺跡の土器が集中する III グループ、東奈良遺跡の土器だけが集中する IV グループに明瞭に分かれる。東奈良遺跡の土器は III と IV の 2 タイプに分かれる。

4-3 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ の相関について

第8図 $\text{K}_2\text{O} - \text{CaO}$ 図に示すように、 K_2O の値が低い領域に西ノ辻遺跡の土器が集中する I グル

ブ、 CaO の値がいくぶん高い領域に唐古・鍵遺跡の土器が集中するⅡグループ、 K_2O の値が高く、 CaO の値が低い領域に東奈良、亀井北、池上曾根、若江北、山賀、瓜生堂の各遺跡の土器が集中し、Ⅲ～Ⅴの3グループを形成する。この3グループの中で、 CaO の値が高い領域から低い領域に向かって、亀井北遺跡の土器が集中するⅢグループ、池上曾根、若江北、瓜生堂の各遺跡の土器が集中するⅣグループ、東奈良遺跡と山賀遺跡の土器が集中するⅤグループに分類される。このように各遺跡毎に領域が分かれる。

5 まとめ

- 1) 土器胎土はA～Mの13タイプに分類され、最も多いタイプはJタイプ、次いでHタイプとなり、この両タイプは大阪府下の東奈良、亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器に共通するタイプである。DとEタイプは西ノ辻遺跡に特有のタイプである。奈良県の唐古・鍵遺跡の土器はFタイプに集中する。東奈良遺跡の土器はHとJタイプの2種類が主体である。
- 2) X線回折試験に基づくQ1-P1相関では西ノ辻遺跡、唐古・鍵遺跡の両遺跡の土器は明瞭に分類されるが、東奈良、亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器は同じ領域の中に混在して分類は難しい。
- 3) 化学分析結果では第4表に示すように東奈良遺跡の土器とともに亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器は SiO_2 と K_2O の値が高く、 Fe_2O_3 と MgO 値が低い領域にあり、 SiO_2 と K_2O の値が低く、 Fe_2O_3 と MgO 値が高い領域に西ノ辻遺跡と唐古・鍵遺跡の土器が明瞭に分かれる。東奈良遺跡の土器は東奈良、亀井北、池上曾根、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の領域にあって、 Al_2O_3 と MgO 値が低い領域集中し明瞭に成分で分かれる。池上曾根遺跡の土器は MgO 値が高い領域にあり、亀井北遺跡の土器は CaO の値が高い領域にあり、これらの遺跡の土器は明瞭に分類される。しかし、瓜生堂、若江北、山賀の各遺跡の土器は常に同じグループにあり、分別はいくぶん難しい。

第1-1表 胎土性状表

試料 No.	タイプ 分類	焼成 ランク	組成分類						粘土鉱物および造岩鉱物						ガラス	備 考
			Mo-Mn-Hf	Mo-Cl-Mn-Hf	Mg-Cl-Mn-Hf	Hb	Ch(Fe)	Ch(Mg)	Qt	Crist	Mullite	K-fels	Hauy	Kao	Pyrite	
東奈良-1	H	7	20	123	86				2294	186	125		195	73		共生中期IV焼成0°C
東奈良-2	H	7	20	98	71				2380	242						共生中期IV焼成0°C
東奈良-3	H	7	20	106	61				3360	132	56		303			共生中期IV焼成0°C
東奈良-4	J	8	20	99					4168	217			367			共生中期IV焼成0°C
東奈良-5	J	8	20	87					3192	117	58		259			共生中期IV焼成0°C
東奈良-6	J	8	20	91					3519	219	81		337			共生中期IV焼成0°C
東奈良-7	J	8	20	87					2665	119			573			共生中期IV焼成0°C
東奈良-8	I	8	8	102	140				3144	108						共生中期IV焼成0°C
東奈良-9	K	10	17	223	131				3262	147			270			共生中期IV焼成0°C
東奈良-10	K	10	17	173	113				3514	359						共生中期IV焼成0°C
東奈良-11	J	8	20	73					3404	152			430			共生中期IV焼成0°C
東奈良-12	K	10	17	152	106				3096	292			224			共生中期IV焼成0°C
東奈良-13	J	8	20	79					3851	94						共生中期IV焼成0°C
東奈良-14	H	7	20	108	56				4208	221			384			共生中期IV焼成0°C
東奈良-15	K	10	17	158	122				3997	191						共生中期IV焼成0°C
東奈良-16	M	14	20	115	54				3797	137	90		49			共生中期IV焼成0°C
東奈良-17	H	7	20	115	54				4432	249						共生中期IV焼成0°C
東奈良-18	H	7	20	98	60				2878	160			168			共生中期IV焼成0°C
東奈良-19	K	10	17	163	100				2918	114			177			共生中期IV焼成0°C
東奈良-20	J	8	20	51					3529	92	73					共生中期IV焼成0°C
東奈良-21	C	5	11	80	152				1259	185	118		71			共生中期IV焼成0°C
東奈良-22	H	7	20	102	56				4490	185	68					共生中期IV焼成0°C
東奈良-23	G	7	9	112	80	175			2072	214						共生中期IV焼成0°C
東奈良-24	J	8	20	58					4520	505	85		352			共生中期IV焼成0°C
東奈良-25	J	8	20	63					3387	194						共生中期IV焼成0°C
東奈良-26	J	8	20	94					3574	310						共生中期IV焼成0°C
東奈良-27	J	8	20	85					3419	194						共生中期IV焼成0°C
東奈良-28	J	8	20	56					2935	146						共生中期IV焼成0°C
東奈良-29	L	11	20	164					1824	141	107					共生中期IV焼成0°C
東奈良-30	M	14	20	96					3253	140						共生中期IV焼成0°C
東奈良-31	J	8	20	100					3095	200	107					共生中期IV焼成0°C
東奈良-32	J	8	20	100					3915	196						共生中期IV焼成0°C

第1-2表 脂土性状表

試料 No.	タイプ 分類	塊度 ランク ^{a)}	粘土鉱物および造岩鉱物												偏 差			
			Mg-Mn-Hb	Mo-Ch-Mn-Hb	Mont.	Mica	Hb	Ch/Fe	Ch/Mg	Qt	Pl	Crist./Mullite	K-fels	Halloysite	Kao	Pyrite	Au	Géras
東奈良-33	B	1	16	170	115	73				3281	269							出生中期IV模式0°C
東奈良-34	K	10	17	158	119					4417	268							出生中期IV模式0°C
東奈良-35	K	10	17	154	102					4170	258							出生中期IV模式0°C
東奈良-36	J	8	20			73						4640	158					出生中期IV模式0°C
東奈良-37	G	7	9	120	85	145				3100	140							出生中期IV模式0°C
東奈良-38	I	8	8	125	157					3506	161							出生中期IV模式0°C
東奈良-39	J	8	20	63						4185	277							出生中期IV模式0°C
東奈良-40	K	10	17	157	113					2321	251							出生中期IV模式0°C
東奈良-41	J	8	20	103						3711	175							出生中期IV模式0°C
東奈良-42	J	8	20	109						3753	321							出生中期IV模式0°C
東奈良-43	K	10	17	139	141					2804	308							出生中期IV模式0°C
東奈良-44	M	14	20							3879	186							出生中期IV模式0°C
東奈良-45	D	5	20	44						2944	157							出生中期IV模式0°C
東奈良-46	H	7	20	82	57					2219	159							出生中期IV模式0°C
東奈良-47	J	8	20	103						3016	211							出生中期IV模式0°C
東奈良-48	L	11	20	148						2846	340							出生中期IV模式0°C
東奈良-49	I	8	8	116	131					3209	272							出生中期IV模式0°C
龜井北-1	J	8	20	83						3663	268							出生中期IV模式0°C
龜井北-2	H	7	20	85	72					2477	483							出生中期IV模式0°C
龜井北-3	G	7	9	187	63	152				2435	636							出生中期IV模式0°C
龜井北-4	H	7	20	87	52					3273	455							出生中期IV模式0°C
龜井北-5	H	7	20	91	62					2242	569							出生中期IV模式0°C
龜井北-6	J	8	20	74						3228	145							出生中期IV模式0°C
龜井北-7	H	7	20	83	57					2589	386							出生中期IV模式0°C
龜井北-8	F	6	20	78	153					3495	291							出生中期IV模式0°C
龜井北-9	M	14	20							3656	168							出生中期IV模式0°C
龜井北-10	F	6	20	106	110					1763	603							出生中期IV模式0°C
龜井北-11	M	14	20							3888	158							出生中期IV模式0°C
龜井北-12	J	8	20	78						3467	210							出生中期IV模式0°C
龜井北-13	H	7	20	76	51					3345	271							出生中期IV模式0°C
龜井北-14	J	8	20	77						2656	418							出生中期IV模式0°C
龜井北-15	H	7	20	91	59					3650	418							出生中期IV模式0°C

第1-3表 胎土性状表

試料 No	タイプ 分類	塊度 ランク	組成分類						胎土鉱物および造岩鉱物						偏 光 学 的 考 察
			Mo-Mn-Hb	Mo-Ch-Mn-Hb	Mn-Mo-Ch	Hb	Ch(Fe)	Ch(Mg)	Qt	Crist	Mullite	K-fels	Halloysite	Au	
龜井北-16	J	8	20	84					31.69	297		230			新生中期IV 構式0/C
龜井北-17	J	8	20	88					41.41	382					新生中期IV 構式0/C
龜井北-18	M	14							3663	421	57	46			新生中期IV 構式0/C
龜井北-19	J	8	20	88					3296	242		174			新生中期IV 構式0/C
龜井北-20	H	7	20	88	62				3763	189		180			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-1	D	5	20	804					126	196					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-2	C	5	11	1330	121				586	174					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-3	D	5	20	970					901	327		156			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-4	C	5	11	1185	116				164	286		240			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-5	D	5	20	1057					505	278		148			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-6	D	5	20	1185					435	338		152			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-7	D	5	20	1225					351	205		173	78		新生中期IV 構式0/C
西ノ江-8	E	6	10	100	1765	115			1023	197					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-9	D	5	20	1386					664	249		159			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-10	D	5	20	1700					408	280					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-11	D	5	20	576					1153	339		136			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-12	E	6	10	159	676	139			1152	556		64			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-13	E	6	10	105	685	106			677	340		63			新生中期IV 構式0/C
西ノ江-14	F	6	20	173	615				1455	232					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-15	E	6	10	121	615	223			854	316					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-16	D	5	20	1175					659	298					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-17	D	5	20	518					634	178					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-18	D	5	20	1013					1230	267					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-19	D	5	20	1197					338	295					新生中期IV 構式0/C
西ノ江-20	D	5	20	1441					635	720		128			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-1	H	7	20	100	63				3332	147		212			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-2	J	8	20	74					3353	275		249			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-3	H	7	20	91	68				2613	241		209			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-4	F	6	20	104	111				3501	461		238			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-5	H	7	20	80	56				4360	218		307			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-6	H	7	20	97	64				3077	177		285			新生中期IV 構式0/C
池上曾根-7	H	7	20	89	70				3415	512		305			新生中期IV 構式0/C

第1-4表 胎土性状表

試料 No.	タイプ 分類	焼成 ランク	組成分類												粘土鉱物および造岩鉱物						備 考
			Mo-Mn-Hb	Mo-Ch-Mn-Hb	Mn-Mo-Ch	Hb	Ch(Fe)	Ch(Mg)	Qt	Pl	Crist	Mullite	K-fels	Halloysite	Kaol.	Poite	Au	Gallerite			
池上曾根-8	M	14	20						2988	81	85	58	177							弥生中期IV様式0C	
池上曾根-9	J	8	20						3601	91										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-10	F	6	20	73	89				3560	196										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-11	J	8	20	77					3553	1958										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-12	J	8	20	96					3431	333										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-13	M	14	20						3435	114										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-14	H	7	20	66	60				3498	431										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-15	H	7	20	56	54				3043	433										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-16	H	7	20	90	56				3060	253										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-17	J	8	20	74					3494	341										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-18	J	8	20	60					3734	112										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-19	F	6	20	93	97				2268	270										弥生中期IV様式0C	
池上曾根-20	J	8	20	96					276	389										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-1	F	6	20	121	189				1526	197										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-2	A	1	1	132	148	183	133		1834	930										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-3	F	6	20	117	179				987	395										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-4	H	7	20	104	86				2264	168										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-5	H	7	20	227	223				1633	558										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-6	F	6	20	95	158				1664	472										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-7	F	6	20	140	173				1032	434										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-8	F	6	20	90	210				1295	351										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-9	F	6	20	106	265				1638	387										弥生中期IV様式0C	
唐古・鍊-10	D	5	20	151					1338	363										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-1	J	8	20	91					3736	145										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-2	J	8	20	98					3543	314										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-3	D	5	20	64					2407	245										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-4	J	8	20	78					3457	176										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-5	J	8	20	64					3376	206										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-6	H	7	20	130	89				2596	420										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-7	F	6	20	53	162				1322	302										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-8	H	7	20	77	59				3303	231										弥生中期IV様式0C	
瓜生堂-9	D	5	20	67					2582	199										弥生中期IV様式0C	

第1-5表 胎土性状表

試料 No	タイプ 分類	焼成 ランク	組成分類			粘土鉱物および造岩鉱物						偏 光			
			Mo-Mn-Hb	Mo-Ch-Mn-Hb	Mont/Mica	Hb	Ch(Fe)	Ch(Mg)	Qt	Pl	Crust/Mullite	K-fels	Halloysite	Au	Garnet
瓜生堂-1	J	8	20	112					2265	238		196			微生中期IV模式0°C
若江北-11	M	14	20	96					2659	286		314			微生中期IV模式0°C
若江北-12	J	8	20	96					3491	322		268			微生中期IV模式0°C
若江北-13	I	8	8	74	102				3350	353		250			微生中期IV模式0°C
若江北-14	F	6	20	76	269				3657	303		580			微生中期IV模式0°C
若江北-15	H	7	20	122	73				2327	224		463			微生中期IV模式0°C
若江北-16	G	7	9	139	75	163	58		3679	648		721			微生中期IV模式0°C
若江北-17	D	5	20	654					162	517					微生中期IV模式0°C
若江北-18	J	8	20	66					3783	174		337			微生中期IV模式0°C
山賀-19	I	8	8	110	142				4074	396		559			微生中期IV模式0°C
山賀-20	J	8	20	98					3831	190					微生中期IV模式0°C
山賀-21	H	7	20	114	78				3545	106					微生中期IV模式0°C
山賀-22	J	8	20	119					3444	193		267			微生中期IV模式0°C
山賀-23	C	5	11	73	136				3599	361		279			微生中期IV模式0°C
山賀-24	J	8	20	94					4353	308					微生中期IV模式0°C
山賀-25	D	5	20	96					4060	212		232			微生中期IV模式0°C
山賀-26	J	8	20	110					3917	114		178			微生中期IV模式0°C
山賀-27	M	14	20						3225	225		313			微生中期IV模式0°C
山賀-28	J	8	20	117					5343	120		209			微生中期IV模式0°C

Mont : モンモリオナイト Mica : 黒雲母 Hb : 角閃石 Ch : 錐沸石 (Ch:Fe 一次反転, Ch:Mg 二次反転) Qt : 石英 Pl : 斜長石 Crist : クリストバライト
 Pyrite : ハロイサイト K-fels : カリ長石 Halloysite : ハロイサイト Kaol : カオリナイト Pyrite:黄鐵矿 Au : 普通輝石 Py:紫蘇輝石
 Mullite : ムラライト

第2-1表 化学分析表

試料番号	Na ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	NiO	Total	備考
東奈良-1	0.45	0.00	23.21	69.98	2.36	0.47	0.91	0.00	2.62	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-2	0.00	0.00	26.55	64.20	1.51	0.43	0.81	0.07	6.43	0.01	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-3	0.24	0.00	22.33	67.60	2.79	0.16	0.87	0.00	5.80	0.20	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-4	0.39	0.00	25.11	67.26	2.42	0.32	0.88	0.00	3.58	0.04	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-5	0.25	0.00	22.50	70.85	2.16	0.52	0.55	0.00	3.07	0.10	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-6	0.67	0.00	26.09	66.61	2.54	0.35	0.89	0.00	2.70	0.17	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-7	0.53	0.00	24.01	68.98	2.88	0.19	0.75	0.00	2.65	0.00	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-8	0.07	0.00	20.82	68.78	2.24	0.25	1.01	0.01	6.83	0.00	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-9	0.07	0.41	24.66	58.70	1.86	0.29	0.92	0.00	12.89	0.20	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-10	0.41	0.00	22.47	66.14	2.02	0.41	0.89	0.00	7.35	0.30	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-11	0.41	0.00	20.92	71.10	2.23	0.36	0.71	0.00	4.12	0.15	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-12	0.53	0.00	23.24	64.60	2.54	0.33	0.88	0.00	7.89	0.00	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-13	0.18	0.00	22.17	68.97	3.19	0.22	0.87	0.00	4.40	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-14	0.51	0.00	26.60	65.88	3.13	0.36	0.93	0.00	2.49	0.11	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-15	0.14	0.00	21.84	69.90	1.78	0.36	0.73	0.00	5.25	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-16	0.52	0.01	21.14	70.78	2.11	0.10	0.68	0.00	4.66	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-17	0.39	0.00	23.14	69.99	2.35	0.24	0.86	0.00	3.02	0.00	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-18	0.41	0.00	22.78	66.36	2.30	0.40	0.80	0.06	6.88	0.00	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-19	0.37	0.00	24.20	65.47	1.98	0.45	0.77	0.00	6.76	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-20	0.51	0.28	25.87	64.43	2.58	0.08	0.76	0.00	5.33	0.17	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-21	0.91	0.45	27.05	65.56	1.79	0.65	0.71	0.00	2.60	0.28	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-22	0.29	0.22	24.83	64.78	4.17	0.40	0.94	0.14	3.88	0.35	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-23	0.48	0.66	28.62	64.01	1.77	0.57	0.66	0.05	3.13	0.05	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-24	0.62	0.78	26.45	63.46	3.12	0.31	0.78	0.31	4.17	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-25	0.42	0.28	20.39	69.32	2.20	0.31	0.64	0.39	5.90	0.15	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-26	0.52	0.45	19.99	70.03	2.35	0.31	0.81	0.33	5.14	0.06	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-27	0.45	0.27	18.51	74.08	2.89	0.39	0.46	0.00	2.69	0.25	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-28	0.66	0.87	25.54	64.08	2.60	0.41	0.95	0.27	4.61	0.00	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-29	0.27	0.32	25.83	64.04	2.00	0.55	1.11	0.13	5.73	0.02	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-30	0.31	0.41	25.20	65.93	1.95	0.37	0.62	0.37	4.82	0.00	99.98	共生中期IV様式O C
東奈良-31	0.55	0.70	24.76	66.86	2.19	0.30	0.69	0.17	3.75	0.04	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-32	0.19	0.57	22.18	67.60	2.31	0.33	0.98	0.29	5.07	0.50	100.02	共生中期IV様式O C
東奈良-33	0.35	0.71	23.55	68.88	1.91	0.39	0.96	0.07	3.18	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-34	0.75	0.63	24.32	65.07	2.74	0.60	0.53	0.65	4.67	0.05	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-35	0.55	0.48	21.97	65.94	2.19	0.32	0.99	0.43	6.43	0.70	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-36	0.22	0.35	25.44	65.51	2.22	0.25	0.79	0.00	4.23	0.00	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-37	0.39	0.43	25.46	63.43	2.02	0.66	1.17	0.00	6.13	0.31	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-38	0.47	0.41	21.55	67.24	2.80	0.44	1.30	0.34	5.36	0.08	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-39	0.32	0.66	24.29	64.68	2.73	0.34	1.16	0.44	5.38	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-40	0.21	0.27	23.84	65.20	1.82	0.39	1.13	0.00	7.10	0.03	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-41	0.55	0.54	22.78	69.67	2.18	0.19	0.70	0.52	2.88	0.00	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-42	0.21	0.37	20.89	70.76	2.33	0.43	1.17	0.20	3.63	0.01	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-43	0.58	0.86	24.63	66.22	2.32	0.35	0.81	0.16	4.07	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-44	0.31	0.02	16.21	77.97	1.91	0.25	0.73	0.01	2.59	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
東奈良-45	1.13	1.10	24.62	61.84	2.82	0.47	1.24	0.55	6.03	0.21	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-46	0.57	0.35	22.43	70.46	3.82	0.38	0.50	0.14	1.36	0.00	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-47	0.26	0.65	32.45	59.35	1.52	0.25	0.93	0.38	4.22	0.00	100.01	共生中期IV様式O C
東奈良-48	0.90	0.46	27.06	62.71	1.48	0.33	0.68	0.09	6.28	0.00	99.99	共生中期IV様式O C
東奈良-49	0.48	1.04	22.66	63.30	2.99	0.65	1.25	0.59	6.80	0.24	100.00	共生中期IV様式O C
龜井北-1	0.15	0.41	17.88	71.79	1.87	1.01	1.09	0.25	5.17	0.39	100.01	共生中期IV様式O C
龜井北-2	1.23	0.72	20.57	67.00	3.15	0.99	0.95	0.44	4.95	0.00	100.00	共生中期IV様式O C
龜井北-3	0.90	1.92	19.97	63.35	3.30	1.37	0.91	1.10	6.94	0.24	100.00	共生中期IV様式O C
龜井北-4	1.02	0.37	18.87	68.83	2.19	1.05	1.05	0.55	6.03	0.05	100.01	共生中期IV様式O C
龜井北-5	1.11	0.63	22.45	64.07	2.21	1.76	0.93	0.87	5.91	0.05	99.99	共生中期IV様式O C

第2-2表 化学分析表

試料番号	N a ₂ O	M gO	A l ₂ O ₃	S iO ₂	K ₂ O	C aO	T iO ₂	M nO	F e ₂ O ₃	N iO	Total	備考
龜井北-6	0.40	0.53	24.59	61.89	2.14	1.12	1.02	0.92	7.35	0.05	100.01	弥生中期IV様式0°C
龜井北-7	0.75	0.41	17.24	71.62	1.60	1.12	0.54	0.55	6.15	0.00	99.98	弥生中期IV様式0°C
龜井北-8	0.43	0.45	18.51	69.80	1.82	1.10	1.11	0.61	5.56	0.62	100.01	弥生中期IV様式0°C
龜井北-9	0.72	0.23	18.63	71.45	1.53	1.35	0.94	0.37	4.79	0.00	100.01	弥生中期IV様式0°C
龜井北-10	1.36	0.62	22.23	64.89	2.54	1.21	0.77	0.49	5.89	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-11	0.27	0.46	17.19	69.35	1.66	0.96	0.71	0.86	8.41	0.02	99.99	弥生中期IV様式0°C
龜井北-12	0.49	0.35	21.18	68.86	2.82	1.19	1.40	0.07	3.35	0.30	100.01	弥生中期IV様式0°C
龜井北-13	1.40	0.63	21.27	66.93	3.09	1.00	0.76	0.26	4.65	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
龜井北-14	1.29	0.37	20.76	66.38	2.93	1.36	0.96	1.01	4.65	0.29	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-15	0.55	0.64	19.28	70.55	2.14	0.99	0.79	0.00	4.89	0.17	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-16	0.79	0.40	18.69	71.02	1.81	1.15	0.86	0.27	5.01	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-17	0.43	0.39	20.99	69.83	2.13	0.54	0.84	0.24	4.23	0.38	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-18	3.31	0.18	20.63	69.15	2.02	0.91	0.62	0.19	2.89	0.10	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-19	0.55	0.43	23.12	66.97	1.68	0.91	1.24	0.68	4.42	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
龜井北-20	0.45	0.40	19.93	69.94	1.76	1.07	0.85	0.75	4.86	0.00	100.01	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-1	0.68	3.84	29.63	50.57	0.51	3.74	0.12	0.80	10.01	0.11	100.01	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-2	0.63	8.41	24.01	52.71	0.74	3.07	0.60	0.51	9.26	0.07	100.01	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-3	0.52	6.16	21.88	53.17	0.43	3.04	0.74	0.79	13.12	0.14	99.99	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-4	0.38	7.61	24.91	49.24	0.28	2.68	0.39	0.76	13.46	0.29	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-5	1.10	4.18	24.46	50.41	0.67	3.59	1.00	0.77	13.81	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-6	1.02	5.94	22.22	53.59	0.41	3.58	0.82	0.57	11.85	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-7	1.21	3.66	23.34	49.70	0.60	3.59	0.81	1.07	16.01	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-8	0.75	7.11	23.15	51.27	1.23	3.55	0.83	0.87	11.23	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-9	0.65	6.15	20.70	50.62	0.39	4.11	1.07	1.07	14.90	0.36	100.02	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-10	0.54	3.09	30.67	46.39	0.57	3.26	0.79	0.78	13.79	0.12	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-11	1.18	4.17	24.63	51.87	0.80	4.20	0.90	0.69	11.28	0.28	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-12	0.70	2.83	23.32	55.68	1.42	2.93	1.19	0.55	11.38	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-13	1.71	2.57	24.05	51.11	0.85	3.84	1.51	0.60	13.34	0.43	100.01	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-14	0.31	3.23	23.67	54.29	1.25	2.14	1.39	0.75	12.85	0.11	99.99	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-15	0.88	2.78	30.23	40.62	1.06	2.80	1.03	0.51	20.09	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-16	0.62	3.29	25.05	50.41	1.16	2.89	3.73	0.51	12.24	0.10	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-17	1.16	6.17	25.08	53.96	0.82	3.24	0.61	0.65	8.30	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-18	0.37	2.77	24.02	53.44	1.83	2.69	1.15	0.76	12.83	0.14	100.00	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-19	1.33	4.03	26.52	52.53	0.40	4.95	0.51	0.48	9.26	0.00	100.01	弥生中期IV様式0°C
西ノ辻-20	1.13	4.24	22.62	54.09	0.79	3.84	0.96	0.56	11.44	0.33	100.00	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-1	0.77	0.89	18.31	73.82	2.26	0.91	0.37	0.00	2.44	0.25	100.02	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-2	0.69	1.00	22.91	64.76	2.47	0.91	0.87	0.31	5.69	0.38	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-3	0.65	0.85	20.04	70.13	2.12	0.83	0.91	0.48	3.98	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-4	0.57	0.83	21.24	69.82	2.05	1.05	0.55	0.49	3.17	0.24	100.01	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-5	1.00	0.90	19.40	69.95	3.81	0.87	1.01	0.05	2.86	0.16	100.01	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-6	0.26	1.06	21.12	67.44	1.83	1.46	1.26	0.47	4.99	0.12	100.01	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-7	1.23	0.83	20.33	69.29	2.87	1.33	0.70	0.30	3.00	0.12	100.00	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-8	0.72	1.14	22.79	65.65	3.62	0.50	0.72	0.00	4.85	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-9	0.65	0.67	22.51	69.74	2.40	1.10	0.58	0.31	1.98	0.08	100.02	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-10	0.74	0.97	20.77	71.06	2.16	0.94	0.71	0.10	2.55	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-11	1.00	0.68	20.64	70.12	2.88	0.76	1.02	0.60	2.30	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-12	0.55	0.65	20.37	71.11	1.97	1.04	0.89	0.18	3.15	0.08	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-13	0.61	1.23	25.33	65.23	2.49	0.63	0.88	0.48	3.06	0.05	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-14	0.73	1.33	24.56	65.22	2.89	0.58	0.74	0.25	3.70	0.00	100.00	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-15	0.47	1.04	24.01	66.53	2.48	0.75	0.81	0.37	3.53	0.00	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-16	0.76	0.86	21.61	66.13	2.97	1.36	1.04	0.62	4.66	0.00	100.01	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-17	0.77	0.86	21.84	66.85	2.33	0.53	0.57	0.36	5.75	0.14	100.00	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-18	0.44	0.71	23.32	68.89	2.54	0.27	0.86	0.26	2.67	0.03	99.99	弥生中期IV様式0°C
池上曾根-19	0.98	0.62	21.09	67.87	1.83	1.38	0.63	0.52	4.94	0.13	99.99	弥生中期IV様式0°C

第2-3表 化学分析表

試料番号	N a ₂ O	M gO	A l ₂ O ₃	S iO ₂	K ₂ O	C aO	T iO ₂	M nO	F e ₂ O ₃	N iO	Total	備考
池上曾根-20	1.34	0.66	22.43	66.56	2.69	1.10	0.68	0.00	3.80	0.75	100.01	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-1	1.40	1.55	27.13	58.05	2.11	1.61	1.10	0.61	6.46	0.00	100.02	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-2	0.41	0.42	9.93	82.59	0.85	0.80	0.53	0.33	4.08	0.07	100.01	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-3	1.47	2.02	25.88	58.11	1.81	1.12	1.37	0.70	7.52	0.00	100.00	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-4	0.70	0.57	24.08	65.26	2.01	1.39	0.78	0.00	5.18	0.03	100.00	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-5	1.16	1.33	26.22	56.40	1.76	1.85	1.09	0.93	9.25	0.00	99.99	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-6	0.70	1.18	27.53	52.38	1.94	2.36	1.62	0.51	11.52	0.28	100.02	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-7	0.88	1.23	23.25	56.37	2.14	2.13	1.22	1.14	11.31	0.32	99.99	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-8	1.04	1.37	26.79	56.04	1.80	1.92	1.16	0.74	8.82	0.33	100.01	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-9	1.03	1.34	23.61	59.39	2.49	1.99	1.23	0.37	8.19	0.38	100.02	共生中期IV様式0C
唐古・鏡-10	0.87	1.91	29.10	54.32	1.95	0.97	1.26	0.66	8.61	0.34	99.99	共生中期IV様式0C
瓜生堂-1	0.52	0.46	19.55	71.99	1.82	0.86	1.04	0.28	3.37	0.11	100.00	共生中期IV様式0C
瓜生堂-2	1.07	0.91	21.78	67.83	2.67	0.68	1.03	0.32	3.72	0.00	100.01	共生中期IV様式0C
瓜生堂-3	0.74	0.68	22.35	66.78	1.95	0.85	0.78	0.17	5.67	0.00	99.97	共生中期IV様式0C
瓜生堂-4	0.79	0.67	22.81	66.33	2.61	0.69	0.85	0.60	4.30	0.35	100.00	共生中期IV様式0C
瓜生堂-5	0.86	0.76	23.19	67.25	1.65	0.67	1.02	0.54	4.01	0.05	100.00	共生中期IV様式0C
瓜生堂-6	1.08	1.10	22.60	64.84	2.78	0.83	0.85	0.61	5.32	0.00	100.01	共生中期IV様式0C
瓜生堂-7	1.09	1.61	26.44	58.86	2.41	1.06	1.05	0.53	6.81	0.12	99.98	共生中期IV様式0C
瓜生堂-8	0.78	0.85	21.25	65.90	2.84	0.80	1.00	0.60	5.49	0.49	100.00	共生中期IV様式0C
瓜生堂-9	0.71	0.48	21.10	67.09	1.69	0.59	0.72	0.26	7.36	0.00	100.00	共生中期IV様式0C
瓜生堂-10	0.96	0.47	20.63	70.49	2.37	0.73	0.82	0.47	3.00	0.06	100.00	共生中期IV様式0C
若江北-11	0.77	0.74	19.16	69.76	3.32	0.29	0.89	0.19	4.66	0.23	100.01	共生中期IV様式0C
若江北-12	2.36	0.48	23.37	62.97	1.69	1.77	0.74	0.57	5.93	0.11	99.99	共生中期IV様式0C
若江北-13	1.51	0.65	21.57	68.89	2.90	0.66	0.68	0.19	2.96	0.00	100.01	共生中期IV様式0C
若江北-14	0.94	0.79	24.06	64.78	3.69	0.77	0.91	0.02	4.04	0.00	100.00	共生中期IV様式0C
若江北-15	0.89	0.98	24.04	65.70	2.76	0.80	1.29	0.21	3.34	0.00	100.01	共生中期IV様式0C
若江北-16	1.17	1.42	22.32	61.50	3.27	0.92	0.69	1.18	7.53	0.00	100.00	共生中期IV様式0C
若江北-17	0.64	5.34	32.33	52.34	0.40	2.11	0.27	0.79	5.78	0.00	100.00	共生中期IV様式0C
若江北-18	0.51	0.83	22.53	67.21	2.47	0.54	1.34	0.48	3.86	0.22	99.99	共生中期IV様式0C
山賀-19	0.57	0.49	24.54	65.63	1.91	0.45	1.03	0.20	5.18	0.00	100.00	共生中期IV様式0C
山賀-20	0.49	0.72	24.08	66.55	1.74	0.61	0.83	0.68	4.13	0.17	100.00	共生中期IV様式0C
山賀-21	0.21	0.66	23.22	69.82	2.04	0.42	0.83	0.15	2.66	0.00	100.01	共生中期IV様式0C
山賀-22	0.23	0.86	28.12	62.11	1.69	0.69	0.91	0.51	4.59	0.29	100.00	共生中期IV様式0C
山賀-23	0.35	0.45	23.18	69.45	1.73	0.44	0.77	0.38	3.09	0.18	100.02	共生中期IV様式0C
山賀-24	0.67	0.26	20.48	72.67	2.66	0.41	0.50	0.00	2.27	0.08	100.00	共生中期IV様式0C
山賀-25	0.57	0.52	23.33	68.69	2.53	0.47	0.71	0.50	2.66	0.02	100.00	共生中期IV様式0C
山賀-26	0.28	0.45	20.65	70.12	1.62	0.25	1.02	0.35	4.88	0.38	100.00	共生中期IV様式0C
山賀-27	0.60	0.71	25.33	62.97	3.05	0.64	1.38	0.42	4.46	0.46	100.02	共生中期IV様式0C
山賀-28	0.09	0.60	22.52	66.09	1.55	0.40	1.09	0.26	7.20	0.21	100.01	共生中期IV様式0C

第3表 タイプ分類一覧表

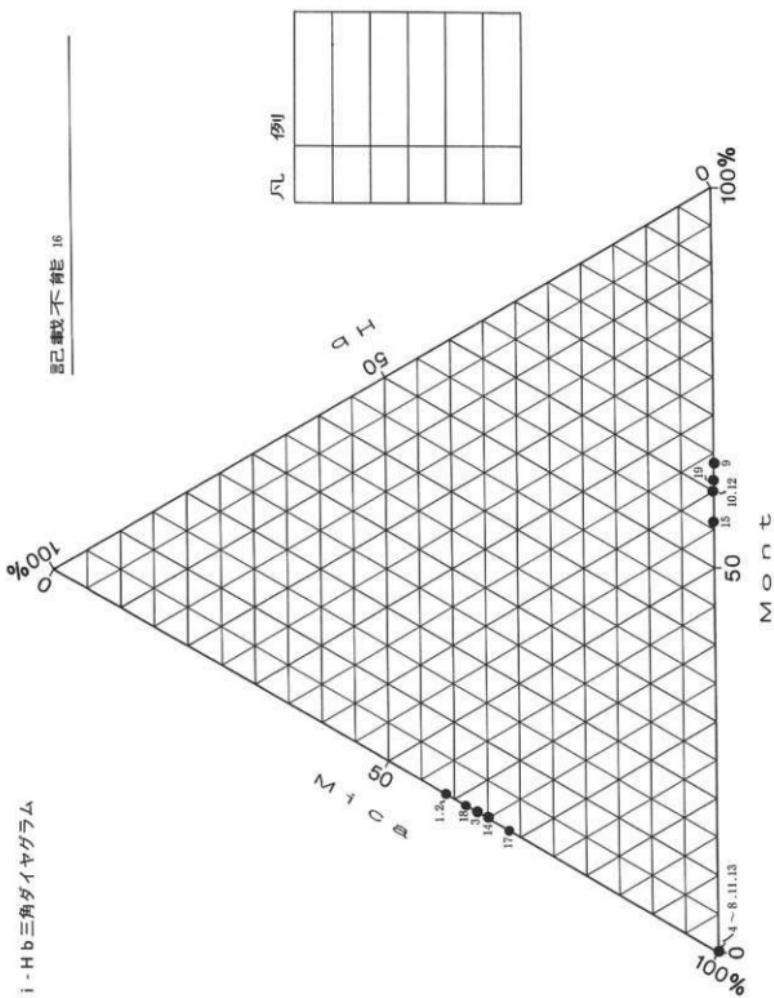
試料No.	タイプ分類	備考	試料No.	タイプ分類	備考	試料No.	タイプ分類	備考
唐古・鍵-2	A	弥生中期IV様式〇C	東奈良-3	H	弥生中期IV様式〇C	東奈良-42	J	弥生中期IV様式〇C
東奈良-33	B	弥生中期IV様式〇C	東奈良-14	H	弥生中期IV様式〇C	東奈良-47	J	弥生中期IV様式〇C
東奈良-21	C	弥生中期IV様式〇C	東奈良-17	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-1	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-2	C	弥生中期IV様式〇C	東奈良-18	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-6	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-4	C	弥生中期IV様式〇C	東奈良-22	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-12	J	弥生中期IV様式〇C
山賀-23	C	弥生中期IV様式〇C	東奈良-46	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-14	J	弥生中期IV様式〇C
東奈良-45	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-2	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-16	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-1	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-4	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-17	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-3	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-5	H	弥生中期IV様式〇C	龜井北-19	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-5	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-7	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-2	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-6	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-13	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-9	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-7	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-15	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-11	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-9	D	弥生中期IV様式〇C	龜井北-20	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-12	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-10	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-1	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-17	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-11	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-3	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-18	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-16	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-5	H	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-20	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-17	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-6	H	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-1	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-18	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-7	H	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-2	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-19	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-14	H	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-4	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-20	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-15	H	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-5	J	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-10	D	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-16	H	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-10	J	弥生中期IV様式〇C
瓜生堂-3	D	弥生中期IV様式〇C	唐古・鍵-4	H	弥生中期IV様式〇C	若江北-12	J	弥生中期IV様式〇C
瓜生堂-9	D	弥生中期IV様式〇C	唐古・鍵-5	H	弥生中期IV様式〇C	若江北-18	J	弥生中期IV様式〇C
若江北-17	D	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-6	H	弥生中期IV様式〇C	山賀-20	J	弥生中期IV様式〇C
山賀-25	D	弥生中期IV様式〇C	瓜生堂-8	H	弥生中期IV様式〇C	山賀-22	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-8	E	弥生中期IV様式〇C	若江北-15	H	弥生中期IV様式〇C	山賀-24	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-12	E	弥生中期IV様式〇C	山賀-21	H	弥生中期IV様式〇C	山賀-26	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-13	E	弥生中期IV様式〇C	東奈良-8	I	弥生中期IV様式〇C	山賀-28	J	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-15	E	弥生中期IV様式〇C	東奈良-38	I	弥生中期IV様式〇C	東奈良-9	K	弥生中期IV様式〇C
龜井北-8	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-49	I	弥生中期IV様式〇C	東奈良-10	K	弥生中期IV様式〇C
龜井北-10	F	弥生中期IV様式〇C	若江北-13	I	弥生中期IV様式〇C	東奈良-12	K	弥生中期IV様式〇C
西ノ辻-14	F	弥生中期IV様式〇C	山賀-19	I	弥生中期IV様式〇C	東奈良-15	K	弥生中期IV様式〇C
池上曾根-4	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-4	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-19	K	弥生中期IV様式〇C
池上曾根-10	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-5	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-34	K	弥生中期IV様式〇C
池上曾根-19	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-6	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-35	K	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-1	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-7	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-40	K	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-3	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-11	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-43	K	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-6	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-13	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-29	L	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-7	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-20	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-48	L	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-8	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-24	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-16	M	弥生中期IV様式〇C
唐古・鍵-9	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-25	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-30	M	弥生中期IV様式〇C
瓜生堂-7	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-26	J	弥生中期IV様式〇C	東奈良-44	M	弥生中期IV様式〇C
若江北-14	F	弥生中期IV様式〇C	東奈良-27	J	弥生中期IV様式〇C	龜井北-9	M	弥生中期IV様式〇C
東奈良-23	G	弥生中期IV様式〇C	東奈良-28	J	弥生中期IV様式〇C	龜井北-11	M	弥生中期IV様式〇C
東奈良-37	G	弥生中期IV様式〇C	東奈良-31	J	弥生中期IV様式〇C	龜井北-18	M	弥生中期IV様式〇C
龜井北-3	G	弥生中期IV様式〇C	東奈良-32	J	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-8	M	弥生中期IV様式〇C
若江北-16	G	弥生中期IV様式〇C	東奈良-36	J	弥生中期IV様式〇C	池上曾根-13	M	弥生中期IV様式〇C
東奈良-1	H	弥生中期IV様式〇C	東奈良-39	J	弥生中期IV様式〇C	若江北-11	M	弥生中期IV様式〇C
東奈良-2	H	弥生中期IV様式〇C	東奈良-41	J	弥生中期IV様式〇C	山賀-27	M	弥生中期IV様式〇C

第4表 遺跡別成分表

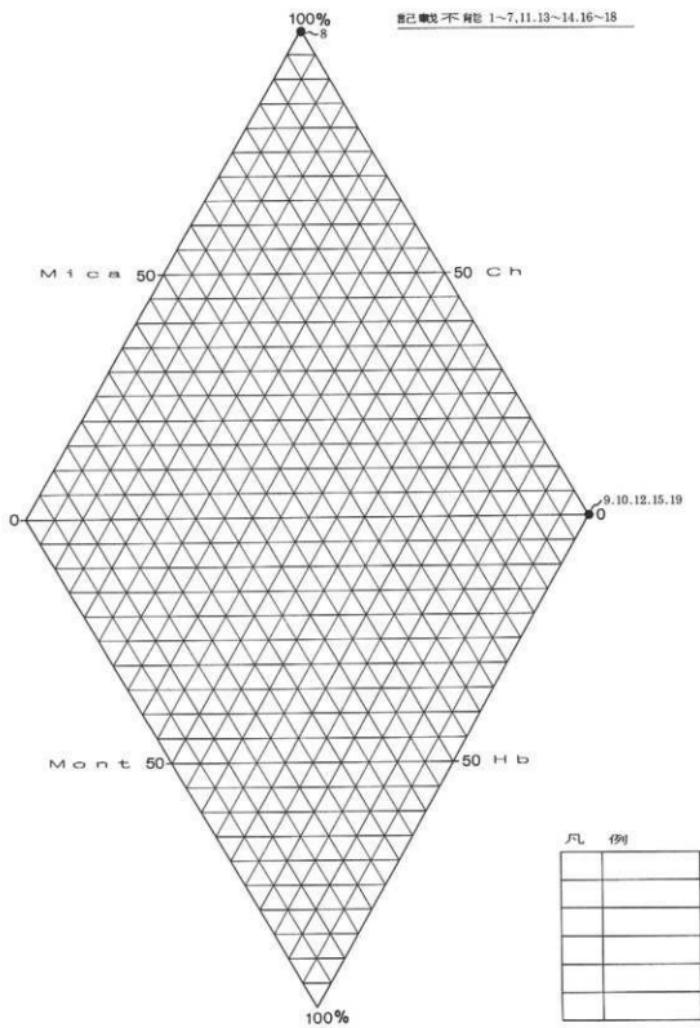
遺跡名	S i O ₂	A l ₂ O ₃	F e ₂ O ₃	M g O	K ₂ O	C a O
東奈良遺跡	58~78	16~28	2.5~7.9	0~1.1	1.5~3.8	0.1~0.6
龜井北遺跡	62~72	17~25	2.9~7.4	0.2~0.7	1.5~3.5	0.5~1.4
西ノ辻遺跡	40~55	20~31	8.0~16.0	2.5~7.6	0.3~1.4	2.1~4.2
池上曾根遺跡	65~71	18~25	2.0~5.8	0.6~1.3	1.8~3.0	0.3~1.5
瓜生堂遺跡	58~72	19~24	3.0~7.5	0.4~1.1	1.6~2.9	0.5~0.9
若江北遺跡	52~69	19~24	2.9~5.9	0.4~1.4	1.6~3.7	0.3~0.9
山賀遺跡	62~72	20~26	2.2~5.2	0.4~0.9	1.5~3.0	0.4~0.7
唐古・鍵遺跡	52~65	23~29	4.0~12.0	0.4~2.0	1.8~3.0	0.8~2.4
				(W t %)		

第3図 Mo-Mi-Hb三角ダイヤグラム

記載不能 16

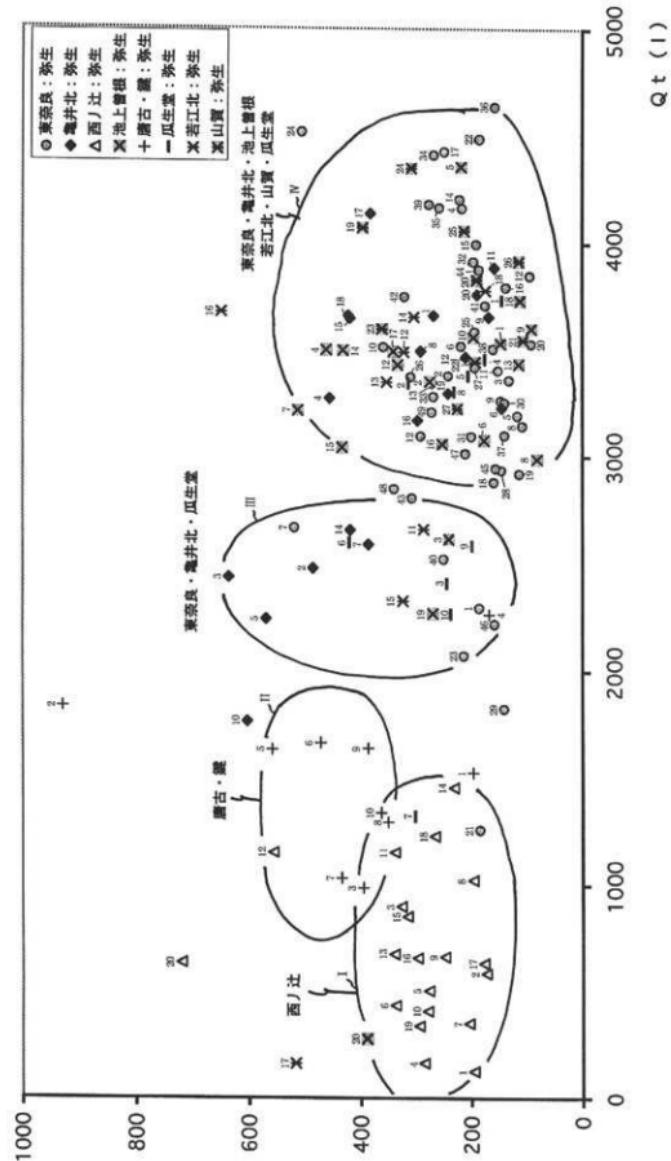


第4図 Mo-Ch, Mi-Hb菱形ダイヤグラム



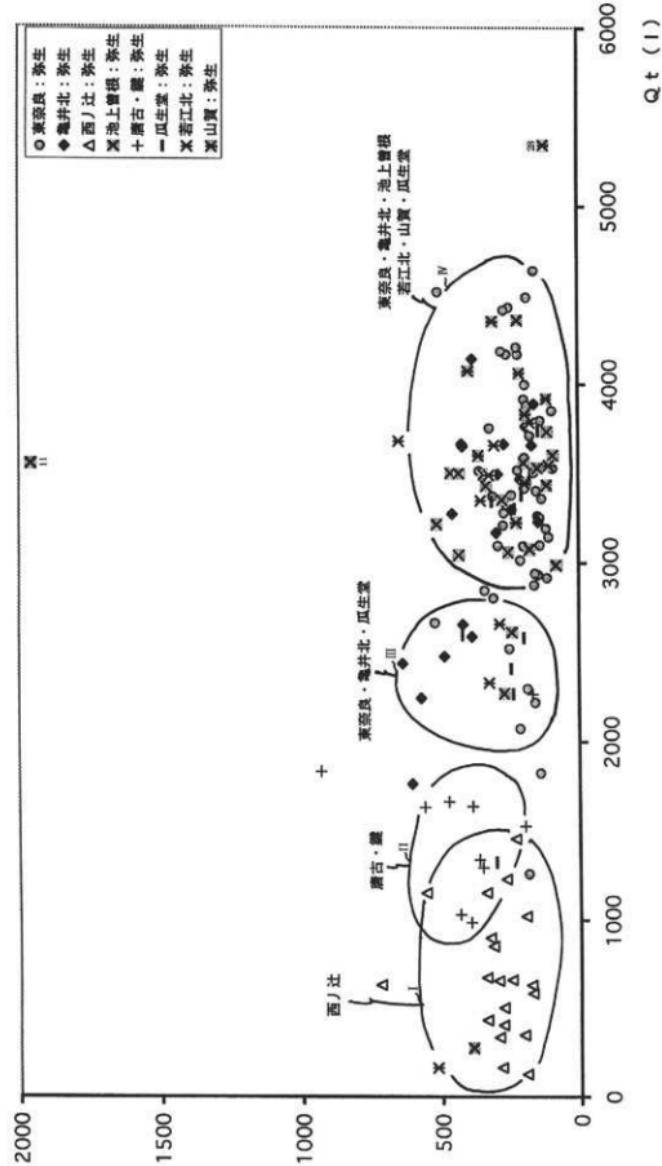
P I (1)

第5-1図 Q t - P I 図 (弥生)



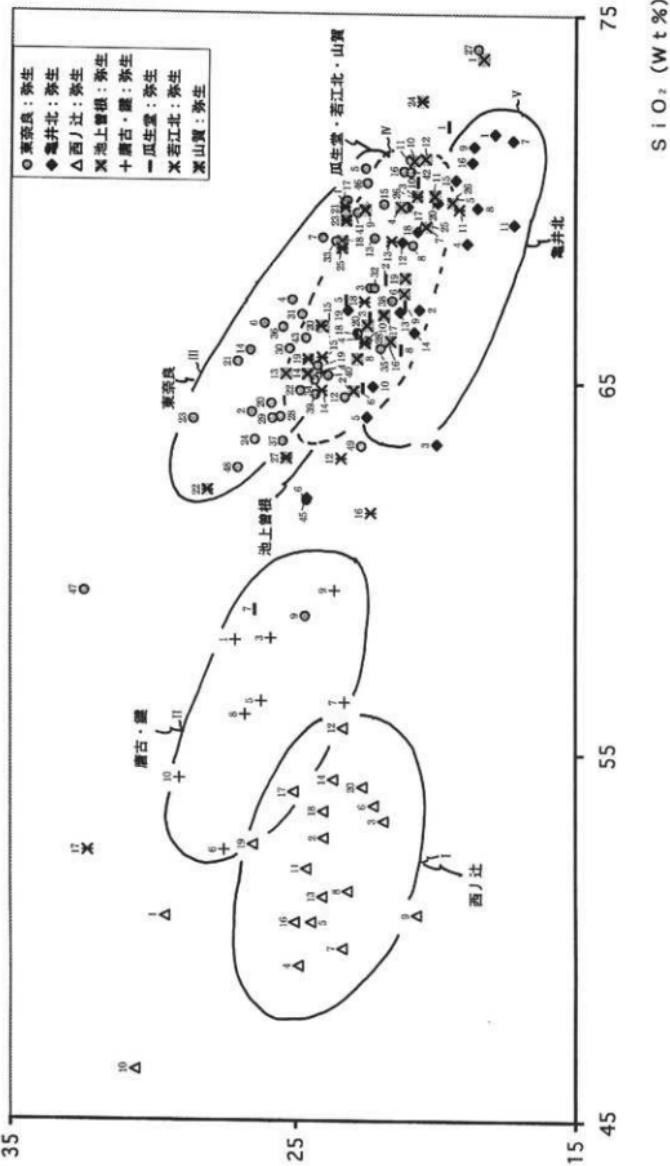
P I (1)

第5-2圖 Q t - P I 圖 (外生)



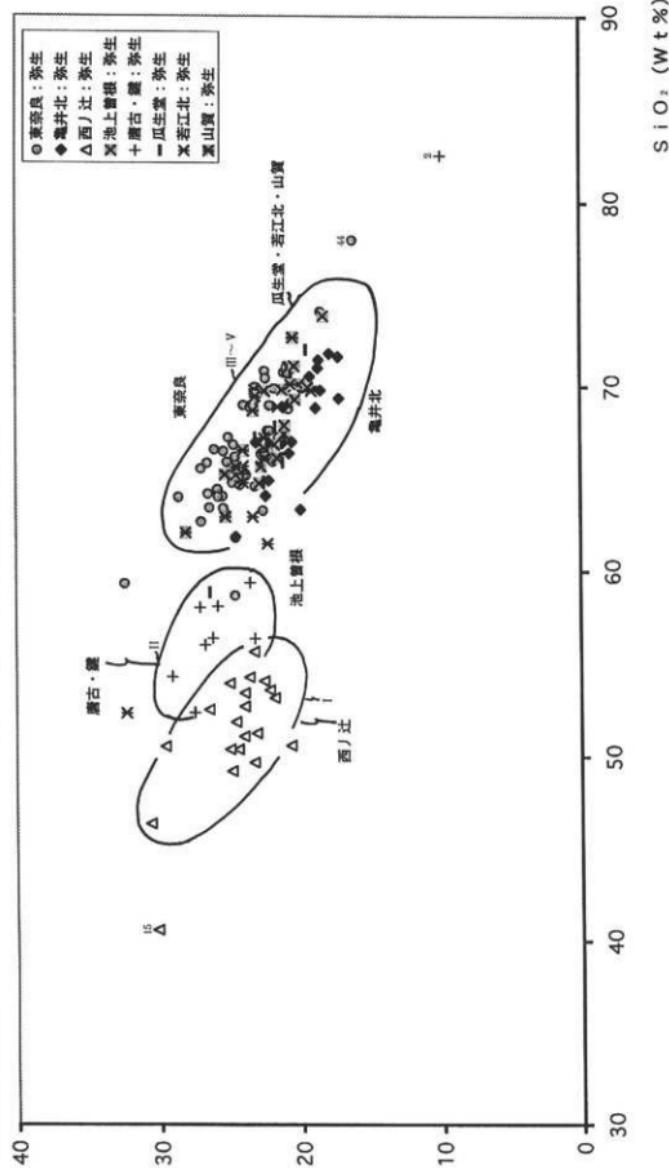
Al₂O₃ (Wt %)

第6-1図 SiO₂-Al₂O₃図 (弥生)



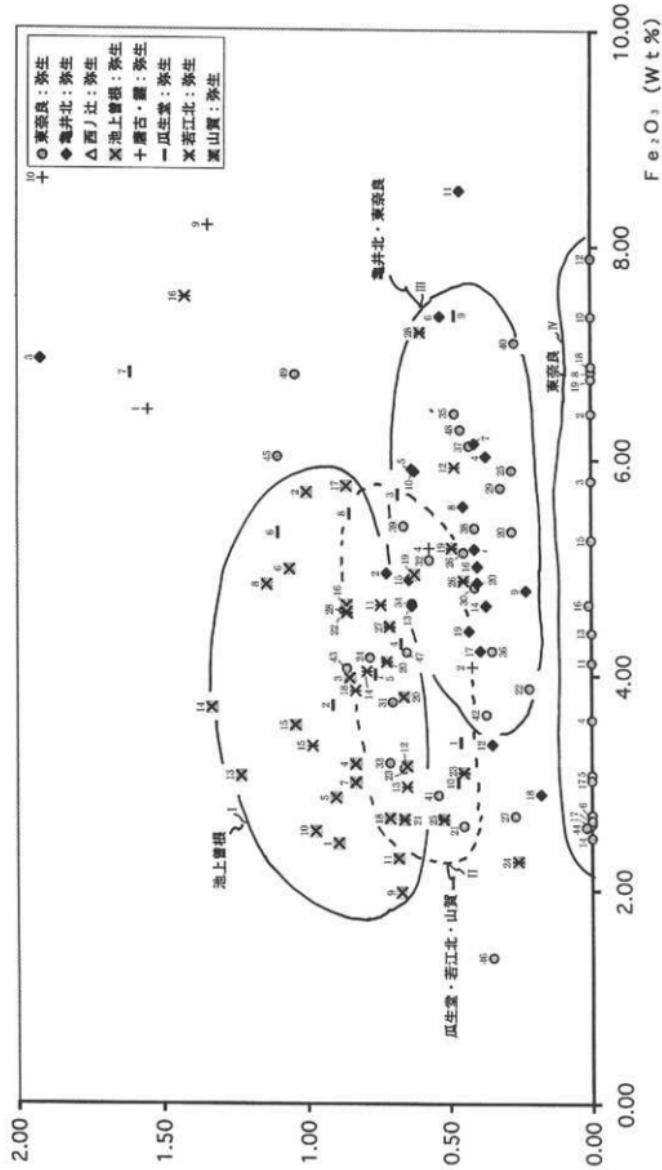
Al₂O₃ (Wt %)

第6-2図 SiO₂-Al₂O₃図 (共生)



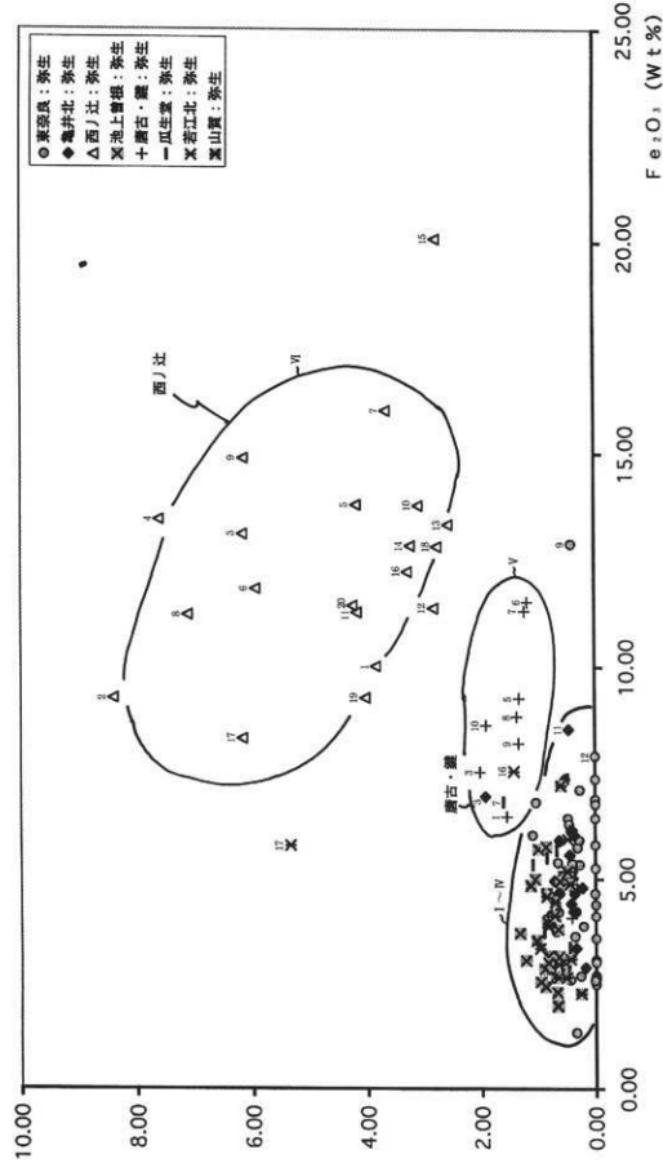
MgO (Wt %)

第7-1圖 Fe₂O₃-MgO圖 (弥生)



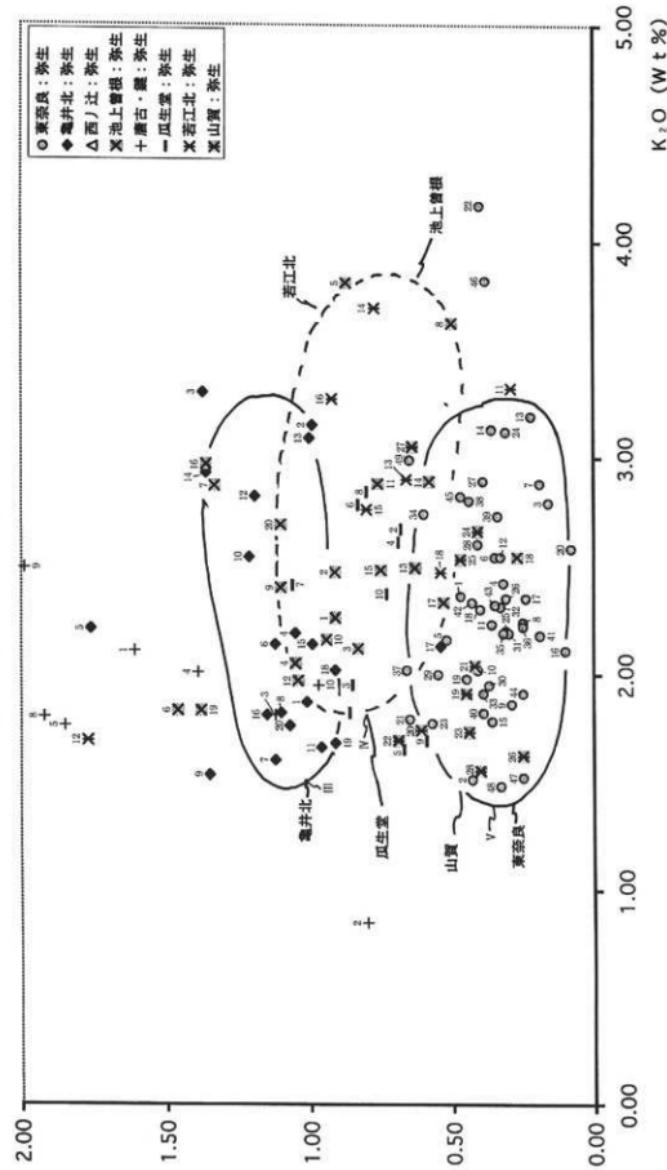
MgO (Wt %)

第7-2図 Fe₂O₃-MgO図 (共生)



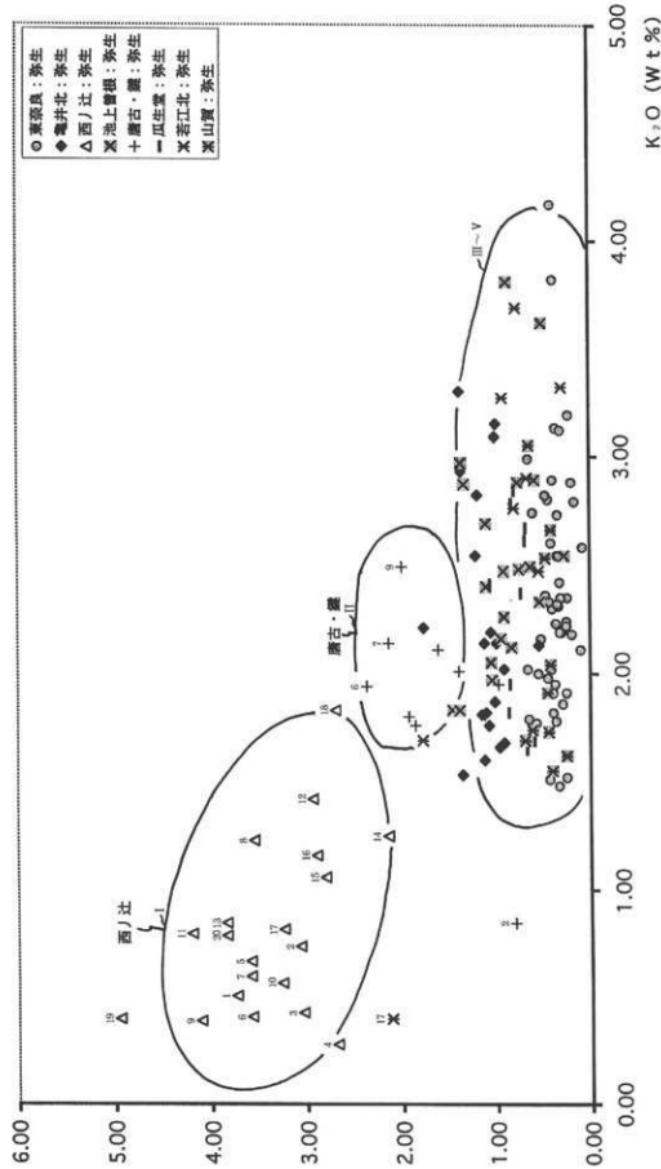
CaO (Wt %)

第8-1圖 K₂O - CaO圖 (共生)

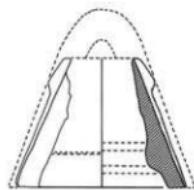


CaO (Wt %)

第8-2圖 K₂O-CaO圖 (外生)



写 真 図 版



銅鐸形土製品復元案

図版 1 A 地区 遺構 壁面

d 2 A トレンチ 東側壁面 IV、V 層 黒色粘土層が見える



c 3 A トレンチ 南側壁面 IV、V 層



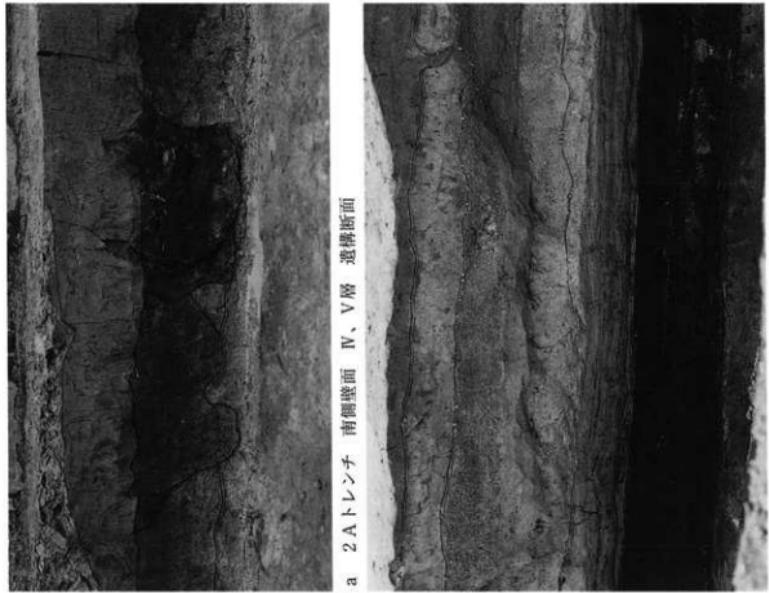
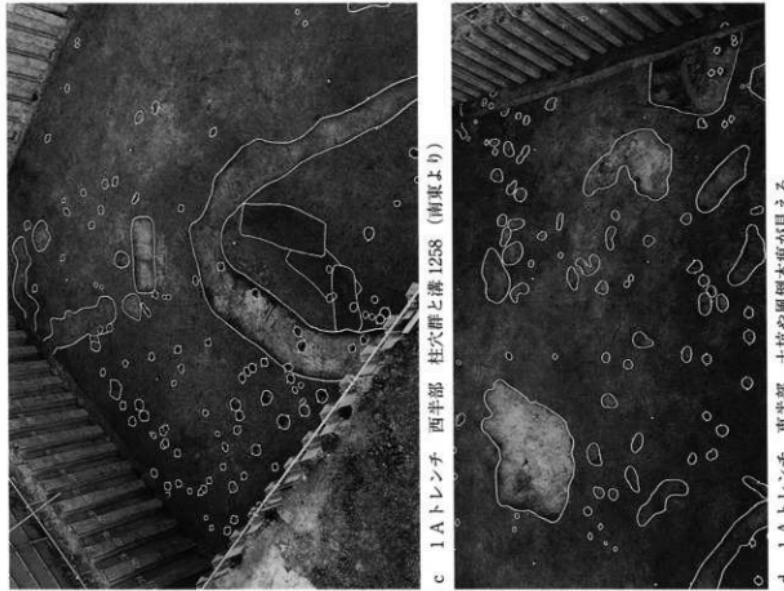
b 4 A トレンチ 南側壁面 I～III 層



a 3 A トレンチ 南側壁面 I～III 層



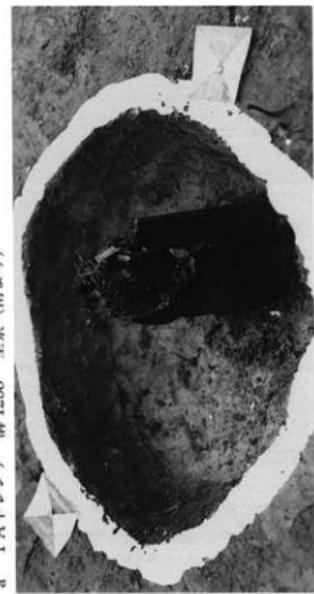
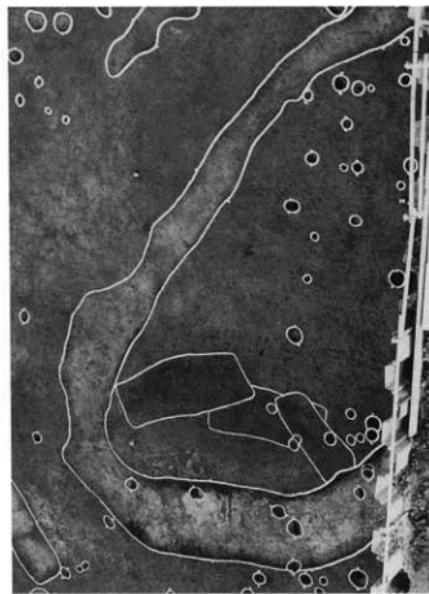
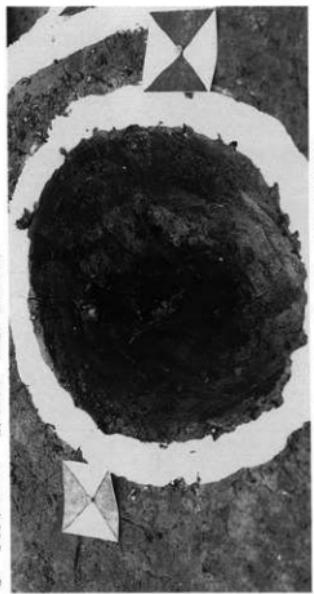
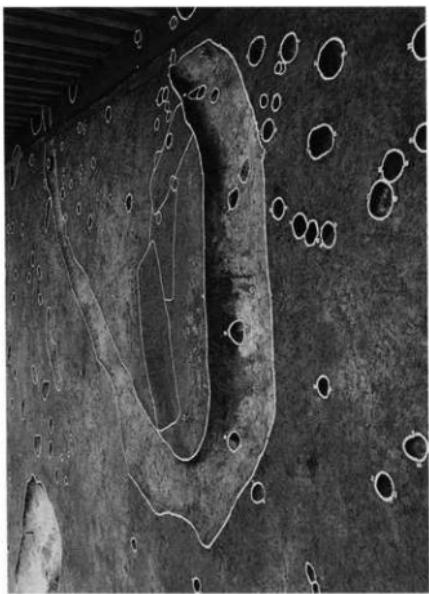
図版2
A地区
堆積層基本層序と弥生時代
遺構



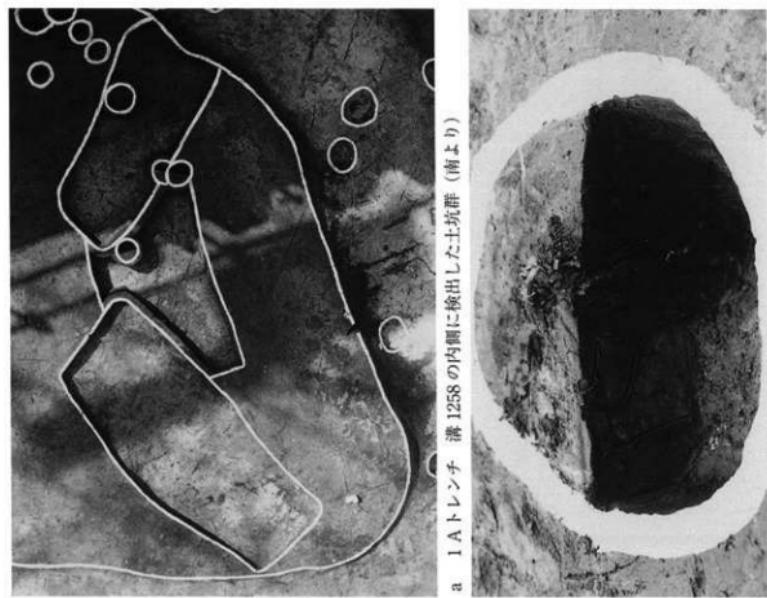
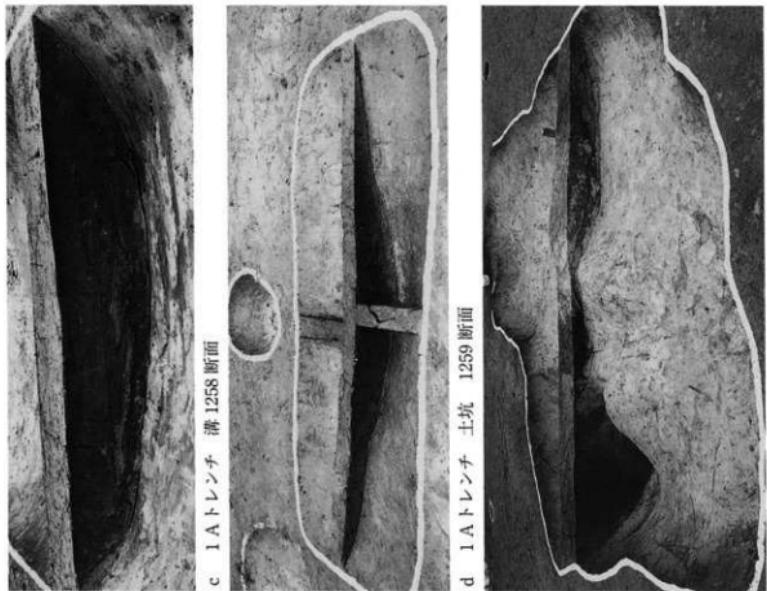
a 2Aトレンチ 南側壁面 IV、V層 畦耕断面

b 3Aトレンチ 断ち割り断面 下層の黒色粘土層が見える

図版 3 A 地区 弥生時代 遺構



図版 4 A 地区 弥生時代 遺構



図版 5 A 地区 弥生時代 遺構

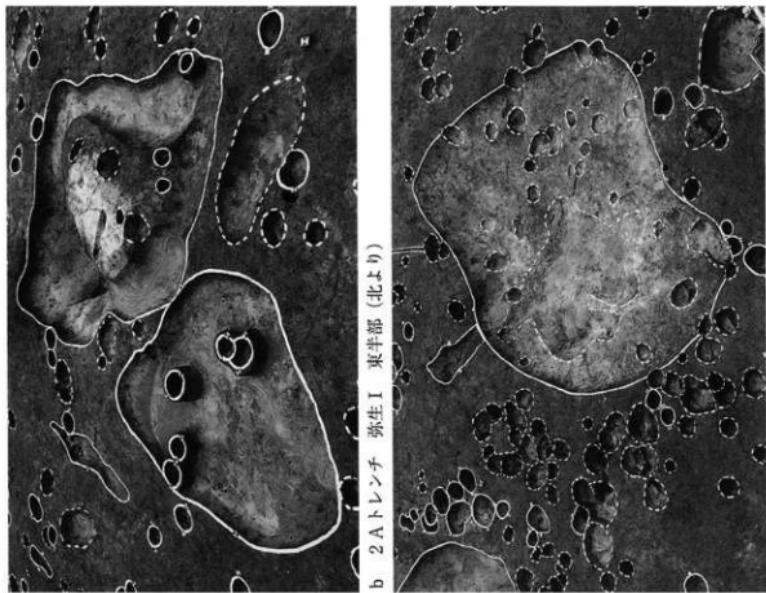


a 2 A トレンチ 弥生 I 西半部（南より）



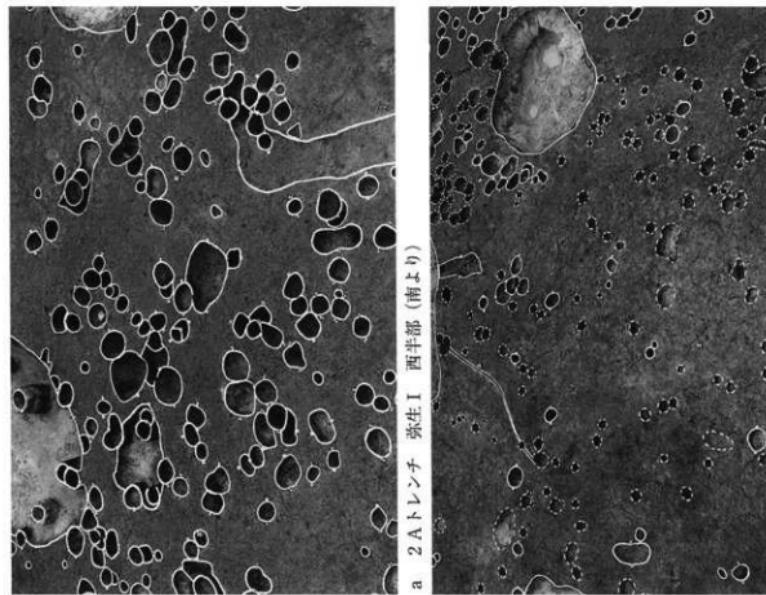
b 2 A トレンチ 弥生 I 東半部（北より）

図版 6 A地区 弥生時代 遺構



b 2Aトレンチ 弥生I 東半部(北より)

d 2Aトレンチ 弥生I 東半部(南より)



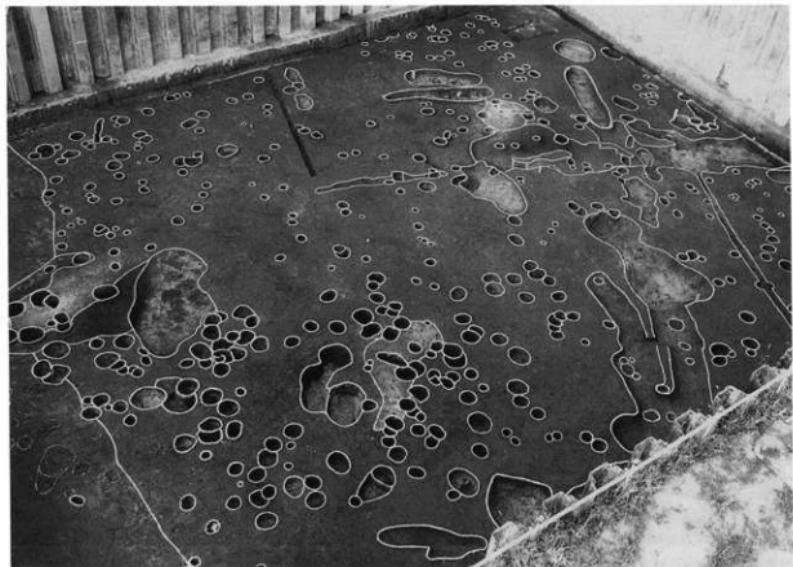
a 2Aトレンチ 弥生I 西半部(南より)

b 2Aトレンチ 弥生I 東半部(北より)

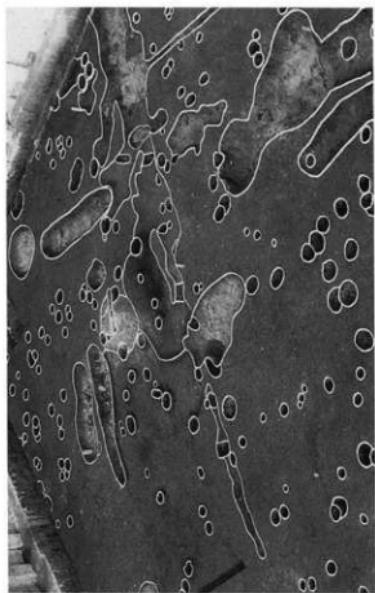
図版 7 A 地区
弥生時代
遺構



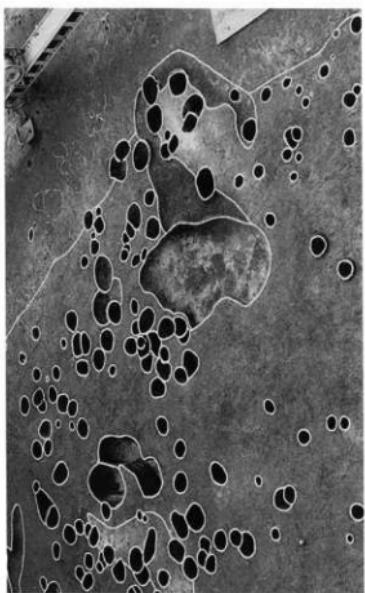
a 2Aトレンチ 東半部 弥生II 全景（北より）



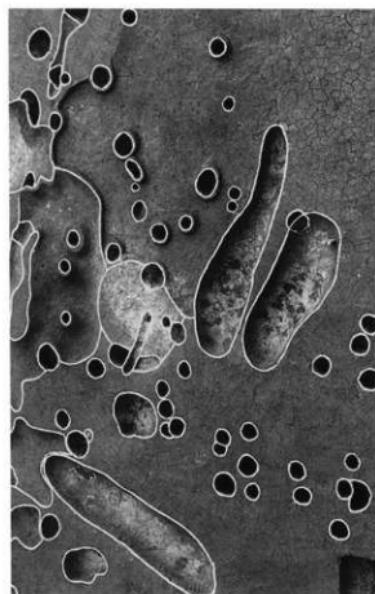
b 2Aトレンチ 東半部 弥生II 全景（南より）



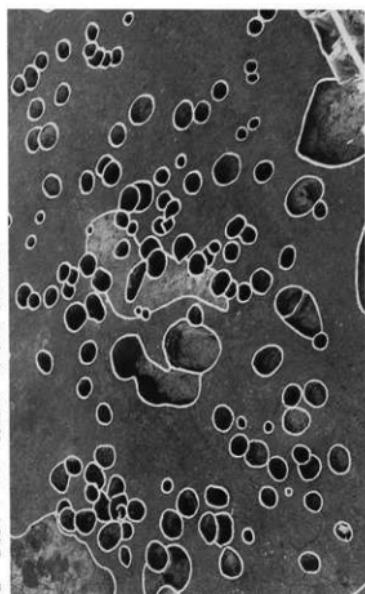
b 2A トレンチ 弥生 II 東半部 (南より)



d 2A トレンチ 弥生 II 中央部 (北より)



a 2A トレンチ 弥生 II 東半部 (北より)



c 2A トレンチ 弥生 II 中央部 (南より)

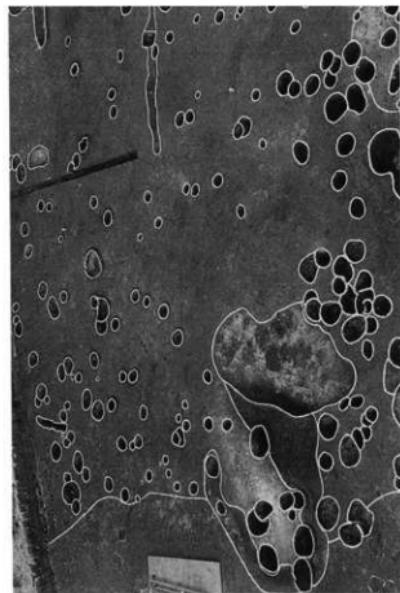
図版 9 A 地区 弥生時代 遺構



b 2A トレンチ 弥生 II 東半部(北より)



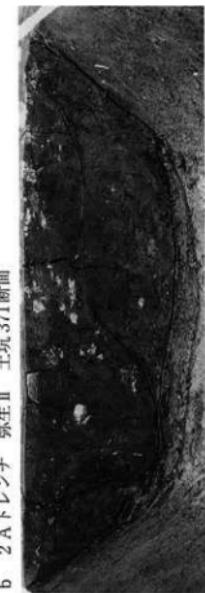
d 2A トレンチ 弥生 I ビット 747断面



a 2A トレンチ 弥生 II 中央部(南より)



c 2A トレンチ 弥生 II ビット 447断面



図版 11 A 地区 弥生時代 遺構

b 2A トレンチ 弥生 II 土坑379断面



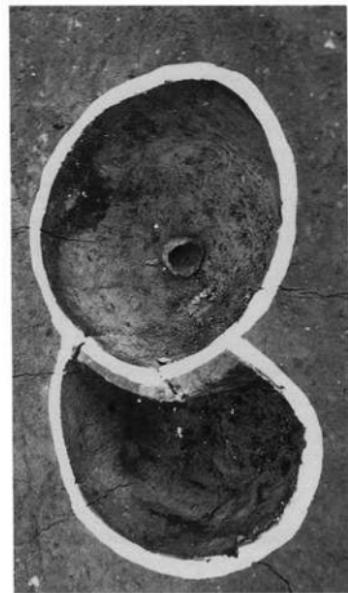
b 2A トレンチ 弥生 II 土坑379断面



c 2A トレンチ 弥生 I 土坑968断面

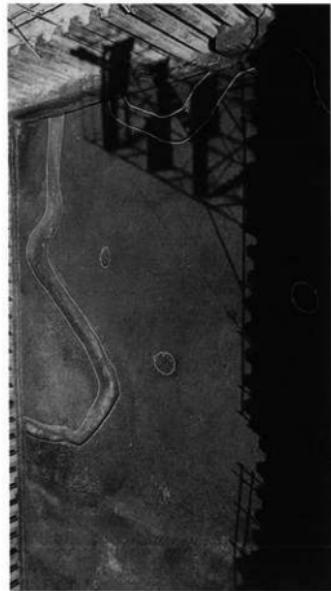


d 2A トレンチ 弥生 I ピット1172 遺物出土状況



a 2A トレンチ 弥生 II ピット232遺物出土状況





a 3A トレンチ 東半部 (南より)



b 3A トレンチ 溝 935 (東より)

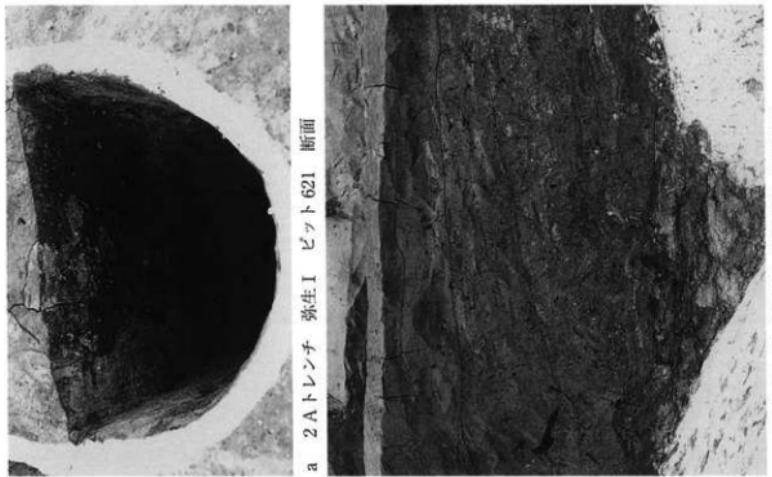
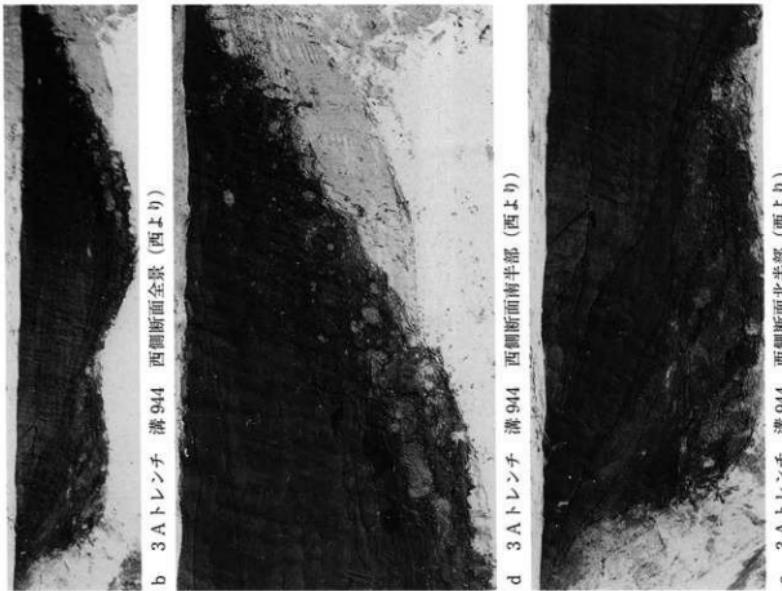


c 3A トレンチ 溝 944, 溝 946 (西より)



d 3A トレンチ 溝 944, 溝 946 (東より)

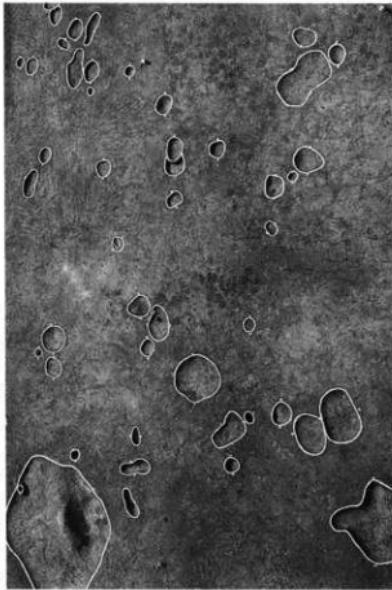
図版 13 A 地区 弥生時代 遺構



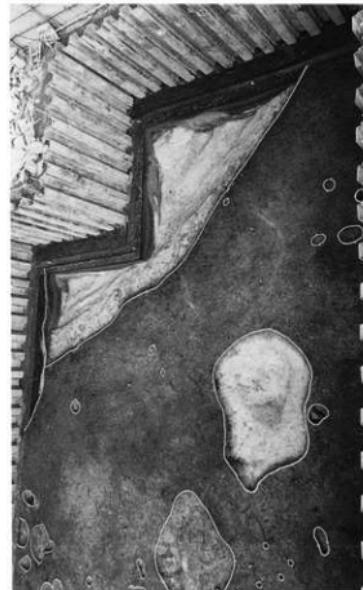
図版 14 A 地区 弥生時代 遺構



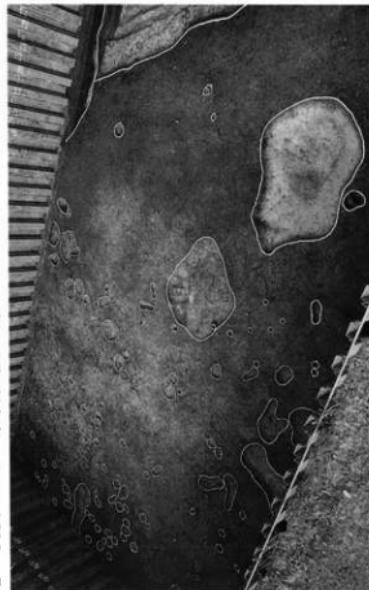
b 4A トレンチ 東半部 (北より)



d 4A トレンチ 西半部 (北より)



a 4A トレンチ 東半部 (南より)



c 4A トレンチ 西半部 (南より)